

豊岡市公共施設個別施設計画

2021年3月
(2024年3月改定)

豊 岡 市

-目次-

第1章 計画の概要	1
1 計画策定の背景と目的	1
2 計画の位置づけ	2
3 計画の期間	2
4 計画の対象施設	3
5 上位計画	5
第2章 施設の劣化診断調査および劣化度評価	8
1 施設の概要と劣化状況	8
2 施設の劣化度評価	9
第3章 整備、保全の基本方針	16
1 長寿命化の考え方	16
2 目標使用年数の設定	18
3 優先順位の考え方	20
第4章 施設類型ごとの個別施設計画	22
1 対策の方向性	22
2 個別施設ごとの方向性	23
3 維持保全の考え方	39
4 保全計画	40
5 対策費用	51
第5章 小規模施設等の今後の計画	54
1 対象となる小規模施設等	54
2 整備方針	58
3 建替え等の計画	59
4 対策費用	63
第6章 フォローアップ実施方針	65
1 推進体制等の充実	65
2 進捗管理	66

第1章 計画の概要

1 計画策定の背景と目的

本市では、高度経済成長期以降、数多くの公共施設を整備してきました。さらに、2005年に市町合併したことにより、用途や目的が重複している公共施設を多数保有しています。その約5割に当たる公共施設が築30年を経過し老朽化しており、今後、改修や建替えの時期が集中することが見込まれます。一方、人口減少や少子高齢化により、財政状況はますます厳しいものとなることから、公共施設の老朽化対策は、大きな課題となっています。

こうした背景のもと、本市では、将来世代の財政負担を考慮した上で、最適な施設サービスの提供に向け、保有する公共施設を有効活用しつつ、施設保有量の見直しや計画的な保全による施設の長寿命化、効率的・効果的な施設運営などを実行していくため、2016年11月に「豊岡市公共施設再編計画」（以下「再編計画」という。）を策定し、同時に国が全ての地方公共団体に要請した「豊岡市公共施設等総合管理計画」（以下「総合管理計画」という。）を策定しました。今後は、再編計画および総合管理計画に示した取組の具体化を図るため、個別の施設については、施設類型ごとの特性を踏まえ、個別計画を策定することとしています。

本計画は、各施設の特性や維持管理・更新等の取組状況を踏まえつつ、本市が保有する公共施設ごとの方向性やあり方を検討し、中長期的な視点に立った施設の適正化と効率的な管理運営を行うことで持続可能な行財政運営の実現を図ることを目的に策定するものです。

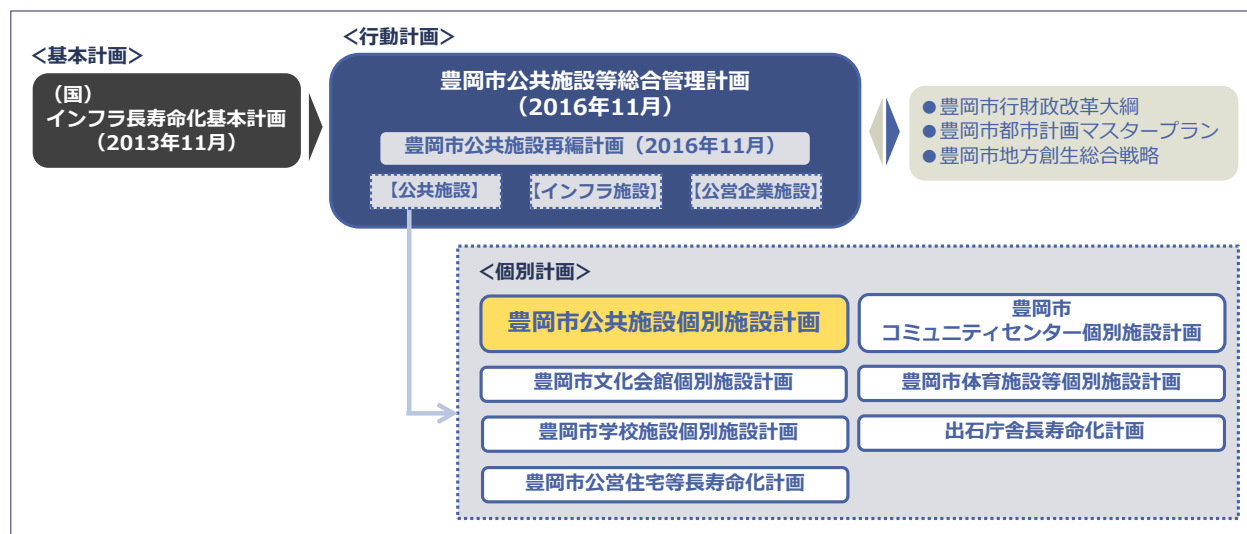
なお、第4章の「4 保全計画」および第5章の「3 建替え等の計画」は、財政負担の概要を算出するためのものであり、将来の実施時期等を確定したものではありません。

2 計画の位置づけ

本計画は、「総合管理計画（2016年11月）」および「再編計画（2016年11月）」に基づき、個別施設の老朽化状況を把握し、改修等の優先順位、対策の内容や実施時期等について定める個別施設設計画として策定するものです。

また、国の「インフラ長寿命化基本計画」で示された「個別施設毎の長寿命化計画（個別施設設計画）」に位置づけるものです。

<図 計画の位置づけ>



3 計画の期間

総合管理計画は、計画期間を2016年度から2055年度までの40年間としています。再編計画は、総合管理計画の計画期間を4期に分け、2016年度から2025年度までの10年間を第1期とし、以降10年ごとに策定することとしています。

本計画は、総合管理計画の実施計画として再編計画の策定サイクルに合わせ、2021年度から2035年度までの15年間とします。

なお、取組の進捗状況や社会経済情勢の大きな変化、関連する計画の策定・変更などを踏まえ、計画期間内であっても必要に応じて適宜計画の見直しを行います。

計画期間： 2021年度～2035年度の15年間

4 計画の対象施設

(1) 本計画の対象施設

本計画の対象施設は、総合管理計画の対象施設のうち、別途個別施設計画を策定している公共施設および個別施設計画に代わる同種・類似の計画を策定している公共施設を除いた 349 施設とします。

なお、インフラ施設、公営企業施設は、各分野で長寿命化計画を既に策定、若しくは策定を予定しているため、本計画の対象から除きます。

＜表 計画の対象施設の内訳＞

No	大分類	No	中分類	主な施設	施設数	延床面積 (㎡)
1	行政系 施設	1	庁舎	市役所、庁舎	6	26,820
		2	その他行政系施設	防災センター、豊岡稽古堂 ほか	5	3,076
		3	消防施設	消防本部、消防署、分署	9	4,988
		4	消防車庫・詰所	消防団車庫・詰所	58	2,828
		5	防災資機材庫	防災資機材備蓄庫、防災倉庫	6	277
		6	水防倉庫	水防倉庫	14	339
2	市民文化 系施設	1	公民館	コミュニティセンター	3	2,071
		2	集会施設	椒地域ふるさと生きがいセンター	1	486
		3	文化施設	市民プラザ、アートセンター ほか	5	8,279
3	社会教育 系施設	1	図書館	図書館、図書館分室	5	4,081
		2	博物館・資料館	美術館、コウノリ文化館 ほか	15	10,704
		3	社会教育系施設	出石辰鼓楼、戸島湿地 ほか	3	458
4	保健・福祉 施設	1	健康福祉施設	健康福祉センター	7	17,277
		2	高齢福祉施設	老人福祉センター、長寿園	2	1,820
		3	障害福祉施設	通所作業所、療育センター	4	1,496
		4	その他福祉施設	隣保館	2	571
5	医療施設	1	医療施設	診療所	6	2,721
6	スポ-ツ レクリエ-ション 施設	1	観光センター	まちなか交流館、道の駅 ほか	4	2,280
		2	スポーツ施設	健康増進施設、体育館 ほか	5	6,693
		3	レクリエ-ション施設	野外活動施設	10	7,868
		4	温泉施設	コウノリ本舗、木屋町小路 ほか	6	6,693
7	産業系 施設	1	産業系施設	農産物加工場、農産物直売所	15	4,646
		2	環境関連施設	エコハウス、ソーラーPR館 ほか	2	205
8	学校教育 系施設	1	給食センター	給食センター	3	4,514
9	子育て 支援施設	1	幼稚園	幼稚園	11	6,861
		2	保育園	保育園	2	1,621
		3	こども園	認定こども園	6	5,201
		4	放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	16	1,641
		5	その他子育て 支援施設	子育てセンター	4	1,653
10	その他	1	供給処理施設	最終処分場、第2清掃センター	2	923
		2	ポンプ場	排水機場、排水ポンプ室	5	542
		3	公園	公園(便益施設)、公園休憩所	16	877
		4	斎場・霊苑	斎場、霊苑	3	849
		5	駐車場	駐車場	2	178
		6	バス停留所	市営バス停留所	10	106
		7	交通関係施設	駅前広場待合所	4	1,052
		8	車庫	重機車庫、バス車庫	6	590
		9	倉庫	倉庫、収蔵庫	12	1,539
		10	公衆便所	公衆便所、トイレ	19	676
		11	その他	普通財産 ほか	35	20,280
合計					349	165,779

※中分類が、庁舎、集会施設、文化施設、スポーツ施設に該当する一部の施設および小学校、中学校、公営住宅は、個別施設計画が策定済みのため、対象外としています。

※延床面積は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない。

(2) 本計画での対象施設の区分

本計画では、対象施設 349 施設のうち、現在も使用されている施設で、将来費用の負担が大きいことが予測される 122 施設（複合施設を含め 148 施設）と、その他 201 施設（以下「小規模施設等」という。）に分け、検討を行っています。第 4 章で 122 施設について、第 5 章で小規模施設等について、それぞれ方向性と今後の対策を示します。

<表 122 施設と小規模施設等との内訳>

No	大分類	No	中分類	施設区分			
				122 施設（148 施設）		小規模施設等	
				施設数	延床面積 (㎡)	施設数	延床面積 (㎡)
1	行政系施設	1	庁舎	6	26,820	0	0
		2	その他行政系施設	5	3,076	0	0
		3	消防施設	6	4,931	3	57
		4	消防車庫・詰所	0	0	58	2,828
		5	防災資機材庫	0	0	6	277
		6	水防倉庫	0	0	14	339
2	市民文化系施設	1	公民館	3	2,071	0	0
		2	集会施設	0	0	1	486
		3	文化施設	5	8,279	0	0
3	社会教育系施設	1	図書館	5	4,081	0	0
		2	博物館・資料館	15	10,704	0	0
		3	社会教育系施設	3	458	0	0
4	保健・福祉施設	1	健康福祉施設	7	17,277	0	0
		2	高齢福祉施設	2	1,820	0	0
		3	障害福祉施設	4	1,496	0	0
		4	その他福祉施設	2	571	0	0
5	医療施設	1	医療施設	6	2,721	0	0
6	スポーツ・レクリエーション施設	1	観光センター	2	2,066	2	214
		2	スポーツ施設	4	6,498	1	195
		3	レクリエーション施設	6	7,668	4	200
		4	温泉施設	5	6,578	1	115
7	産業系施設	1	産業系施設	11	3,946	4	701
		2	環境関連施設	1	168	1	36
8	学校教育系施設	1	給食センター	3	4,514	0	0
9	子育て支援施設	1	幼稚園	11	6,861	0	0
		2	保育園	2	1,621	0	0
		3	こども園	6	5,201	0	0
		4	放課後児童クラブ	16	1,641	0	0
		5	その他子育て支援施設	4	1,653	0	0
10	その他	1	供給処理施設	1	700	1	223
		2	ポンプ場	1	334	4	208
		3	公園	0	0	16	877
		4	斎場・霊苑	1	765	2	85
		5	駐車場	0	0	2	178
		6	バス停留所	0	0	10	106
		7	交通関係施設	2	1,008	2	44
		8	車庫	0	0	6	590
		9	倉庫	0	0	12	1,539
		10	公衆便所	0	0	19	676
		11	その他	3	1,261	32	19,019
合計				148	136,787	201	28,992

※延床面積は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない。

5 上位計画

上位計画の総合管理計画をもとに、本市の公共施設に関する施策を整理します。

総合管理計画では、公共施設マネジメント3原則として、「分野横断的な視点に基づく保有量の最適化」、「計画的な保全による長寿命化」、「効率的・効果的な維持管理・運営」の3つの柱を掲げています。また、3原則に基づき、公共施設の管理に関する方針を示しています。

豊岡市公共施設等総合管理計画（計画期間：2016年度から2055年度）

4. 公共施設マネジメントの基本的な考え方と原則

(1) 公共施設マネジメントの基本的な考え方 ※抜粋

ア 地域コミュニティとの連携により必要なサービスを維持・向上させる

- 公共施設マネジメントに当たっては、地域コミュニティとの対話や連携を基本として、市民のニーズや社会的要請の変化、さらには広大な市域といった地域特性を的確に捉え、将来に必要な施設サービスの維持・向上を図ります。
- 公共施設についてはサービスを提供する手段であるとの認識に立ち、従来の目的別に施設整備を行うのではなく、地域に必要な「施設の整備」から「機能の提供」へと発想を転換していきます。
- 将来のまちのあり方を踏まえて公共施設の果たす役割を再構築することにより、効率的・効果的なマネジメントを展開します。

イ 公共施設の安全性を確保する

- 老朽化により安全性が低下し、日常的な修繕等が必要となっている公共施設等が多くなっているため、公共施設マネジメントに当たっては、今後とも市民等が安全に安心して公共施設等を利用できる環境を整えるとともに、災害時に必要な防災機能の役割を果たしていくことを重視し、施設の安全性の確保を図ります。

ウ 多額の財政負担を軽減させる

- 公共施設等の更新に多額の財政負担を伴うことが予測されます。このような財政負担が他の行政サービスの提供に支障を及ぼさないようにするため、公共施設マネジメントに当たっては、公共施設等の更新や維持管理・運営に係る費用の抑制や平準化、保有する公的不動産の有効活用等により財政負担の軽減を図ります。

エ ユニバーサルデザイン化を推進する

- これまで進めてきたバリアフリー化の取組に加え、公共施設等のユニバーサルデザイン化を推進します。推進に当たっては、国の「ユニバーサルデザイン2020行動計画」のユニバーサルデザインの街づくりの考え方を踏まえて進めます。

オ PPP/PFI 手法の活用を推進する

- 公共施設の建設・維持管理・運営等に民間の資金やノウハウを導入し、効率的かつ効果的な公共サービスを提供できるようPPP/PFI手法の活用を推進します。

カ 地方公会計（固定資産台帳）を活用する

- 保有する公共施設等のより精度の高い情報の管理を行えるよう、固定資産台帳情報の活用を検討します。

キ 保有する財産（未利用資産等）を有効活用する

- 未利用施設等のうち、公用又は公共用の活用が見込めないものにあつては、売却・譲渡・貸付等により、財源の確保を基本に検討を進めます。

ク 脱炭素化を推進する

- 公共施設の建設・長寿命化事業等の際には、再生可能エネルギーの導入や活用とともに、徹底した省エネルギー対策を行い、脱炭素化を推進します。

(2) 公共施設マネジメント3原則 ※抜粋

ア 分野横断的な視点に基づく保有量の最適化（総量縮減）

- 施設の機能をできる限り維持しながら量を減らすことを前提として、役割等を終えた公共施設等の速やかな廃止・処分等を実施するとともに、将来に必要な施設サービスの質と量を踏まえた規模の最適化や機能の複合化（多機能化）、用途の転換など、公共施設等の再編による施設保有量の最適化を図ります。
- 機能の複合化（多機能化）に当たっては、それぞれの施設の所管課単独では進みにくい状況であるため、分野横断的な視点に基づく取組を強化します。

イ 計画的な保全による長寿命化

- 後も保有していく施設については、不具合が発生してから修繕等を行う事後保全による対応を改め、定期的な点検・診断、修繕履歴等の把握・蓄積といった基礎的な取組を強化し、計画的な保全による長寿命化を図ります。
- 耐震性能の向上やユニバーサルデザイン等にも配慮し、既存の公共施設等の有効活用を図ります。

ウ 効率的・効果的な維持管理・運営

- 施設保有量の最適化や施設の長寿命化を図る一方で、業務内容の見直しにより施設サービスの質を維持・向上させていくとともに、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの推進等とあわせて、光熱水費を含めた日常的な維持管理・運営費用の削減を図ります。
- 施設の機能に応じて、市民、民間企業、NPO法人等の多様な主体との協働による維持管理・運営を促進するとともに、保有する公的不動産を最大限生かした増収施策等の取組を強化します。

5. 公共施設の管理に関する方針

(1) 分野横断的な視点に基づく保有量の最適化 ※抜粋

ア 施設情報の把握・分析

- 公共施設マネジメントを進めるうえで必要となる施設情報を継続的に蓄積し、一元化するとともに、固定資産台帳等と連携させながら、多角的に分析する取組を強化します。
- 分析の成果等を市民等にわかりやすく情報提供し、施設情報の見える化を図ることで、公共施設の現状と課題等に対する市民理解を促進します。

イ 再編（統合、廃止、多機能化等）の推進

- 施設情報の分析・評価結果や地域の実情を踏まえ、中長期的なまちづくりの観点から施設機能に着目した施設の再編を推進し、市民ニーズ等に対応した地域に必要な施設サービスの維持・向上とあわせて、施設保有量の縮減を図ります。
- 旧市町時代に整備された用途や目的が重複している施設の統廃合や広域化、公共サービスの必要性が乏しくなっている施設の廃止を検討するとともに、今後も保有していく施設のうち、各施設機能を集約する拠点となりうる施設については、他の機能の移転等による多機能化を図ります。
- 会議室など、各施設の多くが共通して保有している機能については、その施設の稼働率や立地を考慮し、一定の地域における類似機能の供給量の検証等を行ったうえで共用化を図ります。
- 公共サービスとして必要であっても市が施設を保有しない方法といった最適な施設運営の手法を検討し、費用対効果の向上を図ります。
- 統合や廃止、多機能化等によって生じる未利用施設の売却・貸付により、施設整備に要する財源を確保します。

(2) 計画的な保全による長寿命化 ※抜粋

ア 点検・診断等の充実

- 施設を安全に使い続けるため、建築基準法第 12 条第 1 項及び第 3 項に基づく定期点検の徹底を図ります。また、各部位・部材の不具合箇所を早期に発見する観点から、施設管理者が自ら点検を実施するためのマニュアルを作成し、施設管理者による日常点検の充実を図ります。
- 既に老朽化が進行している施設は、経年劣化や機能低下の程度を把握し、それを考慮した計画的な保全を図るため、劣化診断を実施します。
- 点検・診断結果や修繕履歴等の蓄積、分析を進め、計画的な保全に取り組むための基礎情報として活用を図ります。その場合、点検・診断等に関する体制整備についても検討します。

イ 計画的な保全、長寿命化の実施

- 今後も保有していく施設については、不具合が発生してから修繕等を行う事後保全ではなく、損傷が軽微である段階から修繕等を行う予防保全へと転換し、計画的な保全を図ります。計画的な保全により施設の長寿命化を推進し、更新費用の平準化や一定期間内における更新費用の総額の削減を図ります。
- 建替え周期は、標準的な耐用年数である 60 年を基本とし、耐震診断や劣化診断の結果等により更に使用が可能であれば 80 年まで長期使用を図ります。ただし、安全面、財政面及び機能面の観点で早期の建替えが効果的と判断できる場合は、整備時期を早めるなど実態に即した施設整備を図ります。
- 今後新たに整備する施設については、施設使用の計画期間を明確にし、長期使用が見込まれる施設は、目標使用年数を 80 年以上とします。

(3) 効率的・効果的な維持管理・運営 ※抜粋

ア 維持管理・運営費の削減

- 引き続き維持管理・運営費の削減を図るとともに、民間が行う方が費用対効果の高い運営が期待できる施設については、民間委託等を進めます。
- 施設の維持管理を事後保全から予防保全に切り替えることによる維持管理費用の増加に対しては、多くの施設の予防保全を包括的に民間委託することによるスケールメリットを生かすなど、効率的な維持管理のあり方を検討します。

イ 保有資産の有効活用

- 公共施設の再編に伴う未利用施設の売却・貸付、広告の掲出やネーミングライツの販売など、施設整備や維持管理に係る自主財源の確保に向けた取組を推進します。また、保有資産の有効活用について、市民、民間企業、NPO法人、社会企業家、大学等の多様な主体との対話や提案を受け付ける場の創出など、新しい仕組みを検討します。

第2章 施設の劣化診断調査および劣化度評価

1 施設の概要と劣化状況

(1) 劣化診断調査の目的

個別施設計画の策定において、国からは、点検・診断によって得られた個別施設の状況について整理すること、個別施設の状況（劣化・損傷の状況や要因等）等から対策の優先順位の考え方を明確化することが求められています。

また、総合管理計画では、今後も保有していく施設については、計画的な保全と長寿命化を推進していくこととしています。

よって、劣化診断調査に基づき、個別施設の状況を把握し、施設の修繕や更新の時期を判断するとともに、更新等に係る費用の算出を行います。

(2) 調査の概要

①劣化診断調査の対象施設

本計画の対象施設のうち、現在も使用されている施設で、「表 劣化診断調査の対象施設」に示す将来費用の負担が大きいことが予測される 122 施設（複合施設を含め 148 施設）について、劣化診断調査を実施しました。

その他の小規模施設等については、劣化診断調査は実施せず、建物の構造、建築年などから劣化状況を判断しました。

②劣化診断調査（机上調査および現地調査）

専門的知識を有する者（1 級建築士・特定建築物調査員）が、既存資料（図面、法定点検結果、施設管理者へのヒアリングシート等）を机上で確認し、各施設の現状や問題点等を抽出後、「表 点検部位項目の内訳」に示す項目の点検部位について、現地にて目視や触手・打診による調査を実施しました。

※122 施設のうち 6 施設については、直近で別の調査を実施していることなどから、既存資料を活用することとし、机上調査のみ実施しています。

<表 点検部位項目の内訳>

項目	点検部位
屋根・屋上	屋根(葺材/防水/ルーブドレイン/笠木/金物)
外部	外壁、外壁シーリング、外部開口部、外部天井、外部雑
内部	内部床、内壁、内部開口部、内部天井、内部雑
電気設備	受変電、電気貯蔵・発電、幹線・動力、電灯コンセント、照明器具、情報通信、情報表示、防災、避雷針
給排水・衛生・消防設備	給水、給湯、排水、衛生器具、ガス、消火、スプリンクラー、屋内、消火水槽
空調設備	熱源、空調、ダクト、自動制御、配管、換気
搬送設備	昇降機
避難施設	避難バルコニー、階段、排煙設備等

2 施設の劣化度評価

(1) 劣化度評価の方法

劣化度評価は、劣化診断調査項目の点検部位ごとに、「表 評価ランクの概要」に示す評価内容に基づき、4段階（A～D）で評価しました。

＜表 評価ランクの概要＞

評価ランク	評価内容
A：ほぼ健全	特に修繕上問題となる事項なし
B：軽微な劣化	経年相応の軽微な劣化が見られる（要経過観察）
C：修繕最適時	数年内で修繕が望まれる（計画最適時）
D：早急な対処要	安全面や快適性の維持のため、早期の修繕が必要
その他の評価	内容
E：要詳細調査	要詳細調査
-：点検対象外	点検対象外

(2) 劣化度評価の結果

劣化度評価の結果は、「表 劣化診断調査対象施設と劣化診断結果」のとおりです。

なお、調査結果の詳細については、施設ごとに「建物劣化診断調査報告書」として別冊でとりまとめました。

※（注意）

次ページ以降に掲載する各表の経過年数は、2020年4月1日を基準としています。

<表 劣化診断調査対象施設と劣化診断結果（行政系施設）>

No	施設名	経過 年数	劣化度評価							
			屋根・ 屋上	外部	内部	電気 設備	消防 設備	給排水・ 衛生	空調 設備	搬送 設備
1	豊岡市役所	7年	A	C	C	B	A	B	A	A
2	城崎庁舎	17年	B	C	C	B	C	B	B	B
3	竹野庁舎	20年	B	D	C	B	B	B	B	B
4	日高庁舎	39年	B	C	B	C	B	B	B	B
5	但東庁舎	26年	C	C	C	C	B	C	B	B
6	豊岡市役所立野庁舎	10年	B	C	C	B	B	B	B	B
7	豊岡稽古堂	93年	B	B	A	A	A	A	A	A
8	豊岡市防災センター	18年	B	B	C	B	B	B	-	B
9	豊岡防災公園	6年	B	C	B	B	B	B	-	-
10	円山川防災センター	22年	B	B	B	B	C	C	-	B
11	消防本部・豊岡消防署	31年	C	C	B	D	B	B	-	B
12	城崎分署	6年	B	B	A	A	A	A	-	A
13	城崎分署竹野出張所	38年	B	C	C	C	C	C	-	-
14	日高分署	37年	D	C	C	D	B	B	-	B
15	出石分署	36年	C	D	C	C	B	B	-	B
(5)	出石分署但東駐在所	26年	C	C	C	C	B	C	B	B
(7)	市議会議場	93年	B	B	A	A	A	A	A	A

※()書きは複合施設の従たる施設で、主用途施設のNoを()内に示しています。

<表 劣化診断調査対象施設と劣化診断結果（市民文化系施設）>

No	施設名	経過 年数	劣化度評価							
			屋根・ 屋上	外部	内部	電気 設備	消防 設備	給排水・ 衛生	空調 設備	搬送 設備
16	豊岡市民プラザ	23年	-	-	B	B	B	B	B	B
17	城崎国際アートセンター	37年	C	B	B	B	C	B	B	B
18	出石多目的ホール	38年	B	C	C	B	B	B	-	-
(2)	城崎地区コミュニティセンター	17年	B	C	C	B	C	B	B	B
(3)	竹野地区コミュニティセンター	20年	B	D	C	B	B	B	B	B
(5)	合橋地区コミュニティセンター	26年	C	C	C	C	B	C	B	B
(2)	城崎市民センター	17年	B	C	C	B	C	B	B	B
(5)	但東市民センター	26年	C	C	C	C	B	C	B	B

※()書きは複合施設の従たる施設で、主用途施設のNoを()内に示しています。

<表 劣化診断調査対象施設と劣化診断結果（社会教育系施設）>

No	施設名	経過年数	劣化度評価							
			屋根・屋上	外部	内部	電気設備	消防設備 給排水・衛生	空調設備	搬送設備	避難施設
19	図書館本館	22年	B	C	B	B	B	C	B	B
20	コウノリ文化館	20年	B	C	B	B	B	C	-	B
21	城崎麦わら細工伝承館	100年	B	B	B	B	B	B	-	B
22	住吉屋歴史資料館	20年	B	C	C	B	B	B	-	B
23	城崎文芸館	25年	B	C	C	B	B	B	B	B
24	歴史博物館「但馬国府・国分寺館」	16年	B	B	B	C	B	B	-	-
25	美術館「伊藤清永記念館」	31年	B	B	B	B	B	B	A	B
26	日本・モンゴル民族博物館	24年	B	C	C	C	B	C	-	-
27	出石永楽館	119年	B	C	C	C	B	B	-	B
28	旧中和家住宅	121年	B	C	C	B	B	B	-	B
29	出石加藤弘之生家	153年	B	C	C	B	B	-	-	-
30	出石家老屋敷	153年	B	C	B	B	B	-	-	-
31	出石史料館	109年	B	C	C	B	B	B	-	-
32	出石明治館	134年	C	C	D	C	B	B	-	-
33	出石辰鼓楼	149年	B	C	C	B	B	-	-	-
34	ハチゴロウの戸島湿地	12年	B	C	B	B	B	B	-	B
35	加陽水辺公園	3年	A	B	B	A	A	A	-	-
36	植村直己冒険館	26年	リニューアル工事中で、劣化診断対象施設から除外							
(2)	図書館城崎分館	17年	B	C	C	B	C	B	B	B
(3)	図書館竹野分館	20年	B	D	C	B	B	B	B	B
(4)	図書館日高分館	39年	B	C	B	C	B	B	B	B
(5)	図書館但東分館	26年	C	C	C	C	B	C	B	B
(5)	東井義雄記念館	26年	C	C	C	C	B	C	B	B

※()書きは複合施設の従たる施設で、主用途施設のNoを()内に示しています。

<表 劣化診断調査対象施設と劣化診断結果（保健・福祉施設）>

No	施設名	経過年数	劣化度評価							
			屋根・屋上	外部	内部	電気設備	消防設備 給排水・衛生	空調設備	搬送設備	避難施設
37	豊岡健康福祉センター	39年	B	C	B	C	B	B	B	B
38	日高東部健康福祉センター	16年	C	D	C	C	C	B	-	-
39	城崎健康福祉センター	26年	B	C	B	C	C	C	B	B
40	竹野健康福祉センター	16年	B	C	B	C	B	B	B	-
41	日高健康福祉センター	27年	C	C	D	C	B	C	B	B
42	出石健康福祉センター	25年	B	C	C	C	B	B	-	D
43	但東健康福祉センター	18年	C	C	C	B	B	C	B	B
44	長寿園	24年	C	C	C	C	C	C	B	C
45	竹野老人福祉センター	35年	C	C	C	B	B	B	-	B
46	北但広域療育センター本部	12年	B	B	B	B	B	B	-	C
47	北但広域療育センター奈佐事業所	34年	B	C	B	B	B	B	-	A
48	竹野心身障害者小規模通所作業所	19年	C	C	C	C	C	B	-	-
49	てっせんの会作業所	54年	B	C	C	B	B	B	-	-
50	豊岡隣保館	15年	B	C	C	B	B	B	-	B
51	出石隣保館	46年	B	B	B	B	B	B	-	-

<表 劣化診断調査対象施設と劣化診断結果（医療施設）>

No	施設名	経過 年数	劣化度評価							
			屋根・ 屋上	外部	内部	電気 設備	消給 防排水・ 衛生	空調 設備	搬送 設備	避難 施設
52	森本診療所	23年	A	B	B	B	B	B	-	-
53	神鍋診療所	33年	B	C	C	C	B	B	-	-
54	合橋診療所	29年	B	C	D	C	B	B	-	-
55	国民健康保険資母診療所	34年	B	C	C	B	B	B	-	-
56	高橋診療所	38年	B	C	C	B	C	B	-	-
(5)	但東歯科診療所	26年	C	C	C	C	B	C	B	B

※()書きは複合施設の従たる施設で、主用途施設のNoを()内に示しています。

<表 劣化診断調査対象施設と劣化診断結果（スポーツ・レクリエーション施設）>

No	施設名	経過 年数	劣化度評価							
			屋根・ 屋上	外部	内部	電気 設備	消給 防排水・ 衛生	空調 設備	搬送 設備	避難 施設
57	まちなか交流館	86年	B	D	B	B	B	B	-	A
58	道の駅「神鍋高原」	17年	B	C	B	C	B	C	B	B
59	健康増進施設	11年	C	D	C	A	A	A	A	A
60	竹野多目的屋内運動広場	25年	B	B	B	B	-	-	-	-
61	神鍋高原体育館	49年	B	D	B	B	B	B	-	-
62	但東健康増進センター	17年	B	B	B	B	B	B	-	-
63	奈佐森林公園	25年	C	C	B	B	B	C	-	-
64	竹野子ども体験村	6年	B	C	C	A	A	A	-	-
65	東大谷野外活動施設	30年	B	C	B	C	B	B	-	B
66	湯の原温泉オートキャンプ場	23年	B	C	C	C	B	B	-	-
67	但東自然の郷	25年	B	C	C	C	C	B	-	B
68	但東自然ふれあいセンター「やまびこ」	35年	C	C	C	C	C	C	B	D
69	城崎温泉交流センター	20年	D	C	C	D	B	B	B	D
70	竹野北前館	29年	B	D	C	C	B	B	B	C
71	神鍋温泉ゆとろぎ	7年	B	B	B	B	B	B	-	B
72	但東シルク温泉館	21年	B	C	D	C	C	C	-	-
73	たんたん温泉福寿の湯	12年	C	C	D	B	C	D	-	-

<表 劣化診断調査対象施設と劣化診断結果（産業系施設）>

No	施設名	経過 年数	劣化度評価							
			屋根・ 屋上	外部	内部	電気 設備	消 防 給 排 水 ・ 衛 生	空 調 設 備	搬 送 設 備	避 難 施 設
74	地域交流センター「コウノトリ本舗」	14年	B	C	B	B	A	B	-	-
75	木屋町小路	12年	B	C	C	B	B	B	-	B
76	竹野多目的研修施設	38年	B	B	B	B	B	B	-	-
77	日高農林漁業体験実習館	27年	B	B	B	B	B	B	B	B
78	殿食材供給施設	15年	B	C	B	B	B	B	-	-
79	日高農林産物加工研修所	33年	C	C	C	C	B	B	-	-
80	出石農産物加工場	25年	B	C	C	B	B	B	-	-
81	但東地域特産物加工施設	36年	C	C	C	B	B	B	-	-
82	但東農産物加工施設	19年	A	B	B	A	C	B	-	-
83	そば乾燥調製貯蔵施設	20年	C	C	C	D	B	B	-	-
84	但東地域活性化センター(赤花そばの郷)	30年	C	C	C	C	B	D	-	-
85	豊岡市エコハウス	11年	B	C	A	A	A	A	-	A

<表 劣化診断調査対象施設と劣化診断結果（学校教育系施設）>

No	施設名	経過 年数	劣化度評価							
			屋根・ 屋上	外部	内部	電気 設備	消 防 給 排 水 ・ 衛 生	空 調 設 備	搬 送 設 備	避 難 施 設
86	豊岡学校給食センター	20年	B	C	C	B	B	B	-	B
87	日高学校給食センター	23年	B	C	C	B	B	B	B	B
88	出石学校給食センター	7年	B	B	B	B	A	A	-	A

<表 劣化診断調査対象施設と劣化診断結果（子育て支援施設）>

No	施設名	経過 年数	劣化度評価							
			屋根・ 屋上	外部	内部	電気 設備	給排水・ 衛生 設備	空調 設備	搬送 設備	避難 施設
89	豊岡めぐみ幼稚園	33年	B	C	C	B	B	B	-	-
90	豊岡ひかり幼稚園	50年	B	C	B	B	B	B	-	-
91	田鶴野幼稚園	30年	B	C	C	A	B	B	-	-
92	五荘奈佐幼稚園	8年	A	B	A	B	B	B	-	B
93	新田幼稚園	30年	B	D	C	B	B	B	-	-
94	中筋幼稚園	38年	B	D	B	B	B	B	-	B
95	神美幼稚園	21年	B	C	B	B	B	D	-	-
96	日高幼稚園	19年	B	C	A	D	A	B	-	-
97	出石幼稚園	38年	B	D	C	C	B	B	-	-
98	福住幼稚園	34年	B	C	B	B	B	B	-	-
99	寺坂幼稚園	35年	B	C	B	B	B	B	-	-
100	西保育園	14年	B	C	B	C	B	B	-	C
101	森本へき地保育園	52年	C	B	C	B	B	B	-	-
102	八条認定こども園	18年	A	B	A	C	A	A	-	B
103	港認定こども園	28年	B	C	B	B	B	B	-	-
104	竹野認定こども園	9年	B	B	B	C	B	B	-	B
105	合橋認定こども園	43年	B	D	C	C	C	B	-	-
106	高橋認定こども園	43年	B	C	C	B	B	B	-	-
107	資母認定こども園	42年	B	C	C	B	B	B	-	B
108	八条放課後児童クラブ	6年	B	D	B	B	B	B	-	-
109	三江放課後児童クラブ	20年	B	D	B	B	B	B	-	-
110	五荘第2放課後児童クラブ	3年	A	A	A	A	B	B	-	-
111	清滝放課後児童クラブ	23年	B	D	C	B	B	B	-	-
112	小坂放課後児童クラブ	32年	B	D	B	B	C	B	-	-
113	小野放課後児童クラブ	33年	B	C	B	B	B	B	-	-
114	竹野子育てセンター	55年	B	C	B	C	B	B	-	-
(89)	豊岡放課後児童クラブ	33年	B	C	C	B	B	B	-	-
(90)	豊岡第2放課後児童クラブ	50年	B	C	B	B	B	B	-	-
(91)	田鶴野放課後児童クラブ	30年	B	C	C	A	B	B	-	-
(92)	五荘放課後児童クラブ	8年	A	B	A	B	B	B	-	B
(93)	新田放課後児童クラブ	30年	B	D	C	B	B	B	-	-
(95)	神美放課後児童クラブ	21年	B	C	B	B	B	D	-	-
(96)	日高第2放課後児童クラブ	19年	B	C	A	D	A	B	-	-
(97)	弘道放課後児童クラブ	38年	B	D	C	C	B	B	-	-
(98)	福住放課後児童クラブ	34年	B	C	B	B	B	B	-	-
(99)	寺坂放課後児童クラブ	35年	B	C	B	B	B	B	-	-
(2)	城崎子育てセンター	17年	B	C	C	B	C	B	B	B
(4)	日高子育てセンター	39年	B	C	B	C	B	B	B	B
(5)	但東子育てセンター	26年	C	C	C	C	B	C	B	B

※()書きは複合施設の従たる施設で、主用途施設のNoを()内に示しています。

<表 劣化診断調査対象施設と劣化診断結果（その他）>

No	施設名	経過 年数	劣化度評価							
			屋根・ 屋上	外部	内部	電気 設備	消給 防排水 設備・ 衛生	空調 設備	搬送 設備	避難 施設
115	久畑二ノ宮福祉住宅	24年	B	C	C	B	B	B	-	-
116	中山向町移住促進住宅	24年	B	C	B	C	B	B	-	-
117	但馬地域地場産業振興センター5階	31年	-	-	B	A	A	A	A	A
118	豊岡最終処分場	20年	B	C	D	C	B	B	-	B
119	一日市排水機場	21年	B	C	C	B	B	B	-	B
120	豊岡斎場	36年	B	D	C	C	C	B	-	B
121	豊岡駅前広場	9年	A	A	A	A	A	A	-	-
122	We ぶらざ	30年	D	D	C	B	B	-	B	D

第3章 整備、保全の基本方針

1 長寿命化の考え方

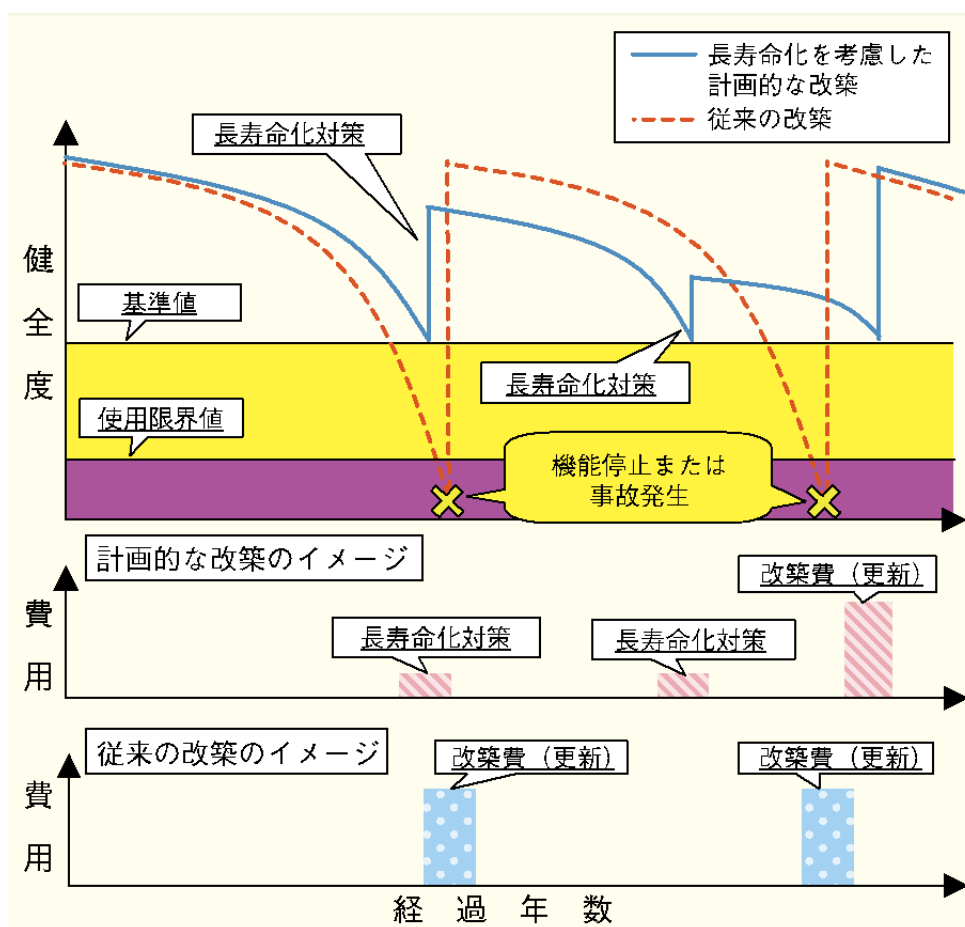
今後も使い続ける施設は、一定の性能水準を保ちながら財政負担の軽減を図るため、建物の使用年数を考慮した上で、計画的な修繕、改修を行う予防保全を図っていく必要があります。そのため、建物をどれくらいの期間使うのか（目標使用年数）を定め、部位ごとの耐用年数で修繕・更新をかけていきます。

事後保全による維持保全を行う施設では、長期的な使用を見越した長寿命化対策は想定せず、利用上の支障となる劣化等について、その都度対応します。

なお、施設改修の際は、省エネルギー設備を積極的に導入するほか、感染症予防対策等、安全安心な公共施設を維持します。また、大規模改修や更新を実施する際には、多様な利用者を考慮し、ユニバーサルデザインに配慮した整備を進めます。

＜図 予防保全による維持管理のイメージ＞

長寿命化対策では、建物や設備の保全計画を立て、劣化状況に応じた計画的な改築を予防的に行うことで、機能停止や事故発生を未然に防ぎ、更新周期を延ばします。



資料：国土交通省ホームページ（国土交通白書）

(1) 長寿命化対策の実施

予防保全による維持保全を行う施設では、建物や設備の維持管理を計画的に行い、老朽化等の状況を踏まえて必要な長寿命化対策を実施します。

建物の長寿命化を図るためには、構造躯体が健全であることが重要となります。そのため、長寿命化改修では、建物の構造躯体を健全に保ち、耐久性と安全性の向上を図るため、ひび割れ対策および中性化対策の実施を想定します。

(2) 計画的に保全すべき部位の設定

建物を構成する部位や材質に応じて耐用年数があり、更新周期は、個別の使用や材料により異なるため、各更新周期に応じた修繕・更新を行っていく必要があります。しかし、建物は様々な部位で構成されているため、今後予防保全による維持保全を図っていく施設についても、全ての部位を計画的に保全すべき部位として一律に扱うことが必ずしも費用対効果が高く、効率的・効果的な保全には繋がりません。そのため、「建築物のライフサイクルコスト」（国交省監修）の「部材データベース一覧表」に部位ごとに設定されている「予防保全」、「事後保全」といった2区分を参考に、優先的に予防保全型の修繕を行う部位と事後保全型でも支障がない部位とを設定します。

<表 部位別の保全優先度>

項目	部位	計画保全とすべき	事後保全で構わない	部位別保全優先度
屋根・屋上	屋根	○		予防保全
外部	外部	○		予防保全
	外部足場	○		
	外部建具	○		
	外構		○	
内部	内部		○	事後保全
	内部建具		○	
電気設備	電力		○	予防保全
	受変電	○		
	電力貯蔵・発電		○	
	通信・情報		○	
	通信・情報(防災)		○	
	中央監視		○	
給排水・衛生・消防設備	給排水衛生	○		予防保全
	消火	○		
	ガス	○		
空調設備	空調	○		予防保全
	自動制御	○		
搬送設備	昇降機	○		予防保全
避難施設	排煙設備	○		予防保全

2 目標使用年数の設定

目標使用年数は耐用年数とは異なり、計画的な保全を実施するために設定するもので、建物の劣化や老朽化を踏まえ、建物の耐用年数を総合的に評価して、施設使用の目標とする年数を設定します。

(1) 耐用年数に関する一般的な考え方

建物の耐用年数には、次の考え方があります。

<表 目標使用年数>

①物理的耐用年数	建物躯体や構成材が物理的あるいは化学的原因により劣化し、要求される限界性能を下回る年数。
②経済的耐用年数	継続使用するための補修・修繕費その他の費用が、改築費用または更新する費用を上回る年数。
③法定耐用年数	固定資産の減価償却費を算出するために税法で定められた年数。
④機能的耐用年数	使用目的が当初計画から変更、または、建築技術の革新や社会的要求が向上・変化に対して陳腐化する年数。

これらの耐用年数を比較すると、①物理的>②経済的>③法定>④機能的、と一般的に考えられています。

(2) 建物の望ましい目標耐用年数の級と区分

「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）では、用途に応じて、構造別に目標耐用年数の級が定められています。

公共施設については、施設規模に応じて用途が「学校・官庁」および「住宅・事務所・病院」に該当するものとし、以下の表の級を用います。

<表 建築物全体の望ましい目標耐用年数の級>

用途	構造	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 レンガ造	木造
		高品質	普通品質	重量鉄骨		軽量鉄骨		
				高品質	普通品質			
学校・庁舎		Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 60 以上
住宅・事務所・病院		Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上
店舗・旅館・ホテル		Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 100 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 60 以上	Y ₀ 40 以上
工場		Y ₀ 40 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 40 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 25 以上	Y ₀ 25 以上

建物の望ましい目標耐用年数の級に応じた目標耐用年数の区分は、以下の表で示されています。

＜表 建築物全体の望ましい目標耐用年数の級＞

級 (Y ₀)	目標耐用年数	代表値	範囲	下限値
Y ₀ 150		150年	120～200年	120年
Y ₀ 100		100年	80～120年	80年
Y ₀ 60		60年	50～80年	50年
Y ₀ 40		40年	30～50年	30年
Y ₀ 25		25年	20～30年	20年
Y ₀ 15		15年	12～20年	12年
Y ₀ 10		10年	8～12年	8年
Y ₀ 6		6年	5～8年	5年
Y ₀ 3		3年	2～5年	2年

(3) 目標使用年数

今後とも機能保持を図っていく必要のある施設については、適切な維持管理等を行うとともに、長寿命化対策を行い、目標とする使用年数まで使用し続けられることが重要となります。

本市では、以上のような「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）で示されている考え方を踏まえ、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、ブロック造の建物で80年、軽量鉄骨造と木造の建物で50年に設定します。

ただし、これらの目標使用年数は全ての施設に通用する訳ではなく、施設の特性や方向性に応じて、目標使用年数より短い期間を設定する場合があります。

＜表 予防保全による維持保全を行う施設の目標使用年数の設定＞

構造	目標使用年数
鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、ブロック造	80年
軽量鉄骨造、木造	50年

(4) 標準使用年数

事後保全の維持保全を行う施設は「表 建築物全体の望ましい目標耐用年数の級」に示す、「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）の代表値を標準使用年数として採用し、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、ブロック造の建物で60年、軽量鉄骨造と木造の建物で40年まで使用する設定とします。

＜表 事後保全による維持保全を行う施設の標準使用年数の設定＞

構造	標準使用年数
鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、ブロック造	60年
軽量鉄骨造、木造	40年

3 優先順位の考え方

今後、修繕・更新等を実施していくにあたり、ある年度に工事が集中し、その費用が当該年度の予算額を超過する場合が想定されます。そのため、修繕等を実施する場合には、各施設の用途や不具合が生じた場合の影響の大きさ等を考慮した上で、保全優先度を決めます。あらかじめ市が保有する公共施設に対して「総合劣化度」と「施設公共性」をもとにした「保全優先度」をⅠ～Ⅴの5段階で設定し、優先順位を評価します。

(1) 評価指標

- 建物の修繕等を実施する保全優先度は、施設公共性と総合劣化度から設定します。
- 総合劣化度は劣化診断結果から算出し、施設公共性は市が担う必要性の強弱から優先度を設定します。

① 総合劣化度

総合劣化度は経年劣化度と現況劣化度で評価します。

$$\text{総合劣化度} = \text{経年劣化度} + \text{現況劣化度}$$

● 経年劣化度：構造に基づき、何年経過したかを示す指標

$$\text{経年劣化度} = \text{経過年数} \times \text{構造}$$

○構造：鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、ブロック造の建物は 1.0
軽量鉄骨造、木造は 1.5

● 現況劣化度：建物の各部位の劣化状況をもとに劣化度を示す指標

$$\text{現況劣化度} = \text{部位係数} \times \text{評価点}$$

○部位係数：屋根・屋上 2.0、外部 2.0、内部 1.0、電気設備 1.0、衛生・消防設備 1.0、
空調設備 1.0、搬送設備 1.0、避難施設 1.0

○評価点：A 0 点、B 25 点、C 75 点、D 100 点

② 施設公共性

公共施設が担う機能について、市が行う必要性（公的関与の必要性や民間施設の代替性）によって、強弱をつけて公共性を評価します。

$$\text{施設公共性} = \text{公的関与の必要性や民間施設の代替性}$$

●施設公共性が「高」の施設

「表 施設公共性に関する絶対基準」に該当する施設を施設公共性が「高」の施設とします。

<表 施設公共性に関する絶対基準>

評価内容	施設公共性
法令等で設置が義務づけられている施設	高
社会的・経済的弱者等の生活のセーフティ・ネットにあたる施設	
市民生活を営む上で最低限必要となる施設	

●施設公共性が「中」または「低」の施設

施設公共性が「高」に該当しない施設について、「表 施設公共性の評価指標」で示す合計得点が1点以下の場合は施設公共性を「中」とし、2点以上の場合は施設公共性を「低」とします。

<表 施設公共性の評価指標>

評価内容	点数
	はい
施設の設置時と比較して、社会情勢の変化等により施設の意義が失われた施設	1点
設置目的や機能が民間の施設と競合する施設	1点
管理運営に係る業務等を民間に任せることで、歳出抑制やサービス・集客力の向上が期待できる施設	1点
合計得点	〇点／3点

(2) 評価方法

総合劣化度と施設公共性の双方の結果より、マトリックスでグループ化することで評価します。

<表 保全優先>

		総合劣化度			
		200点以上	150点以上 ～ 200点未満	150点未満	
施設公共性	高	絶対基準に該当する施設	優先Ⅰ	優先Ⅱ	優先Ⅲ
	中	評価指標 (0～1点)	優先Ⅱ	優先Ⅲ	優先Ⅳ
	低	評価指標 (2～3点)	優先Ⅲ	優先Ⅳ	優先Ⅴ

第4章 施設類型ごとの個別施設計画

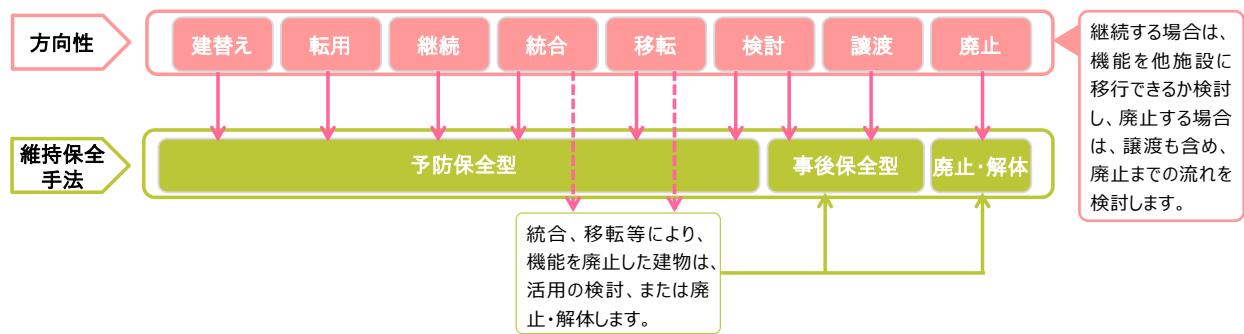
1 対策の方向性

(1) 維持保全手法の検討

建物の維持保全については、予防保全により維持保全を行い、目標使用年数まで利用する施設と事後保全により標準使用年数まで利用する施設に区分し、それぞれの維持保全手法に基づいた施設管理を進めます。

本市が保有する公共施設のうち、将来費用の負担が大きいことが予測されるため、劣化診断調査を行った122施設について、個別施設ごとの方向性を整理し、今後も当面は継続していく施設について、予防保全型の維持保全手法により目標使用年数まで計画的な修繕、更新を行います。一方、122施設のうち、施設の方向性が譲渡または廃止する施設および122施設以外の対象施設については、事後保全型による維持保全、または、廃止・解体を行っていきます。

<図 維持保全手法の検討イメージ>



<表 再編計画の方向性の定義>

方向性	概要
建替	建替え(減築を含む)を行うもの
転用	現在の施設を継続して使用するが、使用目的を変更するもの
継続	現在の施設を継続して使用し、長寿命化のための改修や修繕等(大規模改修の際の減築を含む)を行うもの
統合	同じ用途をもつ複数施設の統合を検討するもの(現時点では廃止する施設が確定していないもの)
移転	用途を他の施設に移転し、現在の施設の使用を中止するもの
検討	現時点では個別施設の方向性を示すことが困難な施設であり、施設のあり方を継続的に検討するもの
譲渡	民間事業者、地元自治会等に施設を譲渡するもの
廃止	用途を廃止し、現在の施設の使用を中止するもの

2 個別施設ごとの方向性

今後の維持保全手法を検討するため、再編計画の方向性を踏まえ、今後の方向性を整理しました。

なお、「表 個別施設ごとの方向性」に示す「再編計画第1期中の方向性」欄は、「豊岡市公共施設再編計画（2016年11月策定）」の第1期中（2016～2025年度）の個別施設の方向性を転載しています。「-」は、同計画の第1期中での方向性を定めていない施設です。

また、ここでは施設の構造を略称で示しています。略称は下記ようになります。

建物構造の略称

S造：鉄骨造、LS造：軽量鉄骨造、SRC造：鉄骨鉄筋コンクリート造、RC造：鉄筋コンクリート造、
W造：木造、CB造：コンクリートブロック造

(1) 行政系施設

<表 対象施設一覧（行政系施設）>

No	施設名称	施設形態	地域区分	建築年度	建物構造	階数	耐震性	延床面積(m ²)
1	豊岡市役所	単独	豊岡	2013	RC	8階	新耐震	14,194
2	城崎庁舎 ※1	複合	城崎	2003	SRC	3階	新耐震	2,791
	城崎市民センター	-	-	-	-	-	-	(386)
	図書館城崎分館	-	-	-	-	-	-	(266)
	城崎子育てセンター	-	-	-	-	-	-	(140)
	城崎地区コミュニティセンター	-	-	-	-	-	-	(705)
3	竹野庁舎 ※2	複合	竹野	2000	RC	3階	新耐震	2,972
	竹野地区コミュニティセンター	-	-	-	-	-	-	(614)
	図書館竹野分館	-	-	-	-	-	-	(363)
4	日高庁舎 ※3	複合	日高	1981	RC	5階	改修済	4,660
	図書館日高分館	-	-	-	-	-	-	(478)
	日高子育てセンター	-	-	-	-	-	-	(941)
5	但東庁舎 ※4	複合	但東	1994	RC	3階	新耐震	4,964
	但東市民センター	-	-	-	-	-	-	(1,009)
	但東子育てセンター	-	-	-	-	-	-	(150)
	図書館但東分館	-	-	-	-	-	-	(170)
	但東歯科診療所	-	-	-	-	-	-	(51)
	東井義雄記念館	-	-	-	-	-	-	(95)
	出石分署但東駐在所	-	-	-	-	-	-	(292)
合橋地区コミュニティセンター	-	-	-	-	-	-	(753)	
6	豊岡市役所立野庁舎	単独	豊岡	2010	RC	2階	新耐震	3,651
7	豊岡稽古堂 ※5	複合	豊岡	1927	RC	3階	新耐震	1,579
	市議会議場	-	-	-	-	-	-	(528)
8	豊岡市防災センター	単独	豊岡	2002	RC	3階	新耐震	237
9	豊岡防災公園	単独	豊岡	2014	S	1階	新耐震	559
10	円山川防災センター	単独	日高	1998	SRC	2階	新耐震	700
11	消防本部・豊岡消防署	単独	豊岡	1989	RC	3階	新耐震	2,186
12	城崎分署	単独	城崎	2014	SRC	2階	新耐震	1,107
13	城崎分署竹野出張所	単独	竹野	1982	S	2階	新耐震	355
14	日高分署	単独	日高	1983	RC	3階	新耐震	499
15	出石分署	単独	出石	1984	RC	3階	新耐震	493

※1 城崎庁舎は、城崎市民センター、図書館城崎分館、城崎子育てセンター、城崎地区コミュニティセンターとの複合施設です。

※2 竹野庁舎は、竹野地区コミュニティセンター、図書館竹野分館との複合施設です。

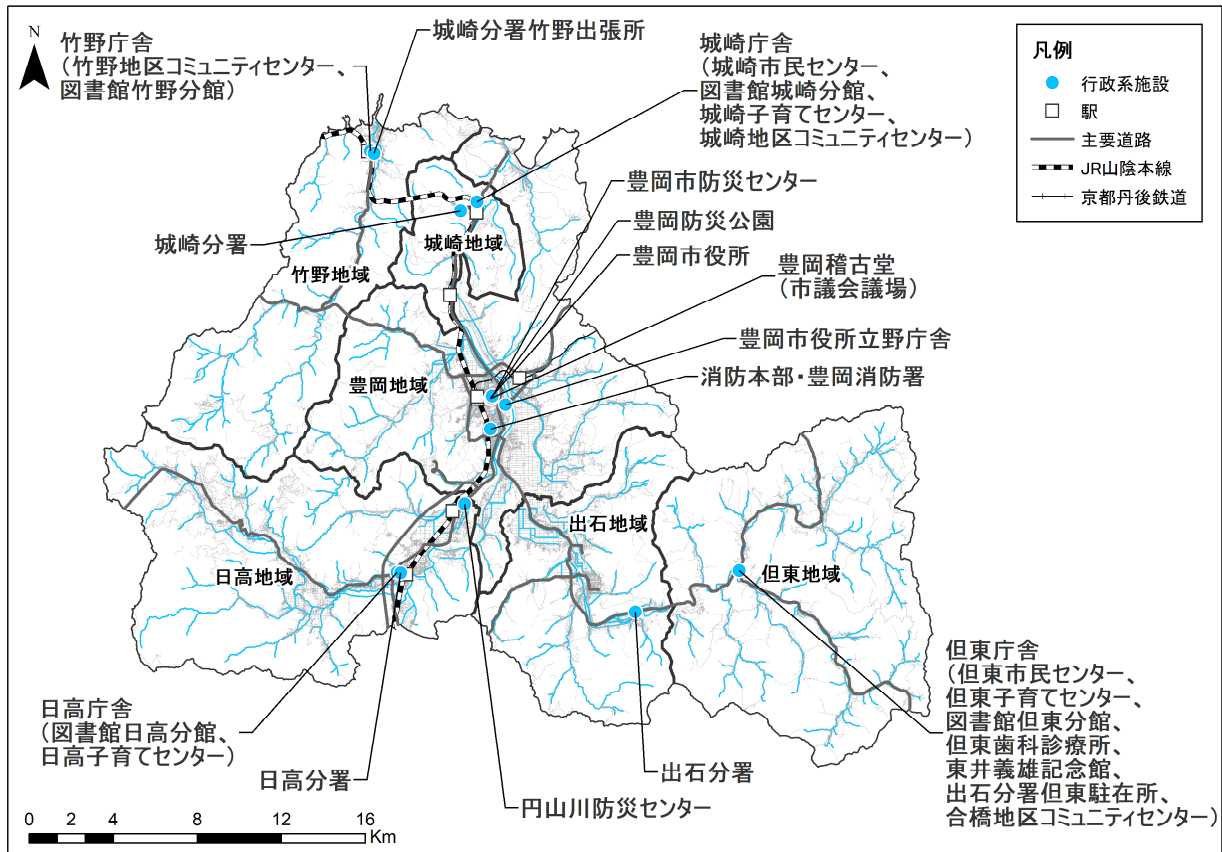
※3 日高庁舎は、図書館日高分館、日高子育てセンターとの複合施設です。

※4 但東庁舎は、但東市民センター、但東子育てセンター、図書館但東分館、但東歯科診療所、東井義雄記念館、出石分署但東駐在所、合橋地区コミュニティセンターとの複合施設です。

※5 豊岡稽古堂は、市議会議場との複合施設です。

注) ※1～※5の延床面積は、主用途施設に一括計上し、従たる施設の占有面積は内数として()書きしています。

<図 対象施設の位置（行政系施設）>



<表 個別施設ごとの方向性（行政系施設）>

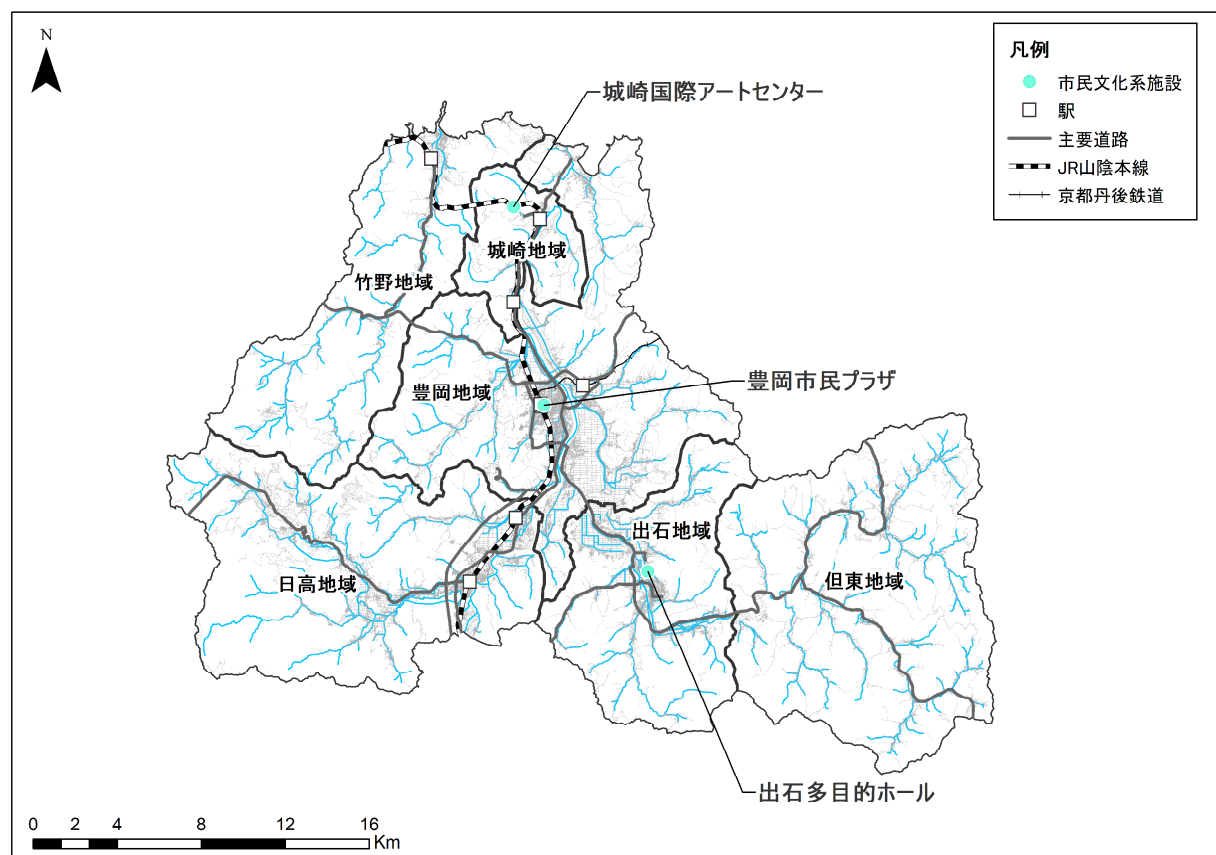
No	施設	経過 年数	再編計画 第1期中 の方向性	今後の方向性	維持保全 方針
1	豊岡市役所	7年	-	長寿命化	予防保全
2	城崎庁舎	17年	-	長寿命化 【減築・多機能化検討】	予防保全
3	竹野庁舎	20年	-		
4	日高庁舎	39年	継続		
5	但東庁舎	26年	継続		
6	豊岡市役所立野庁舎	10年	-		
7	豊岡稽古堂	93年	継続	長寿命化	予防保全
8	豊岡市防災センター	18年	-	長寿命化【多機能化検討】	予防保全
9	豊岡防災公園	6年	-	長寿命化	予防保全
10	円山川防災センター	22年	-		
11	消防本部・豊岡消防署	31年	継続	現在の配置・機能を維持。 大規模改修等を行う際に庁舎など近隣施設との複合化を検討	予防保全
12	城崎分署	6年	建替済		
13	城崎分署竹野出張所	38年	検討		
14	日高分署	37年	検討		
15	出石分署	36年	継続		

(2) 市民文化系施設

<表 対象施設一覧（市民文化系施設）>

No	施設	施設形態	地域区分	建築年度	建物構造	階数	耐震性	延床面積(m)
16	豊岡市民プラザ	単独	豊岡	1997	RC	8階	新耐震	2,436
17	城崎国際アートセンター	単独	城崎	1983	RC	5階	新耐震	3,977
18	出石多目的ホール	単独	出石	1982	RC	1階	新耐震	472

<図 対象施設の位置（市民文化系施設）>



<表 個別施設ごとの方向性（市民文化系施設）>

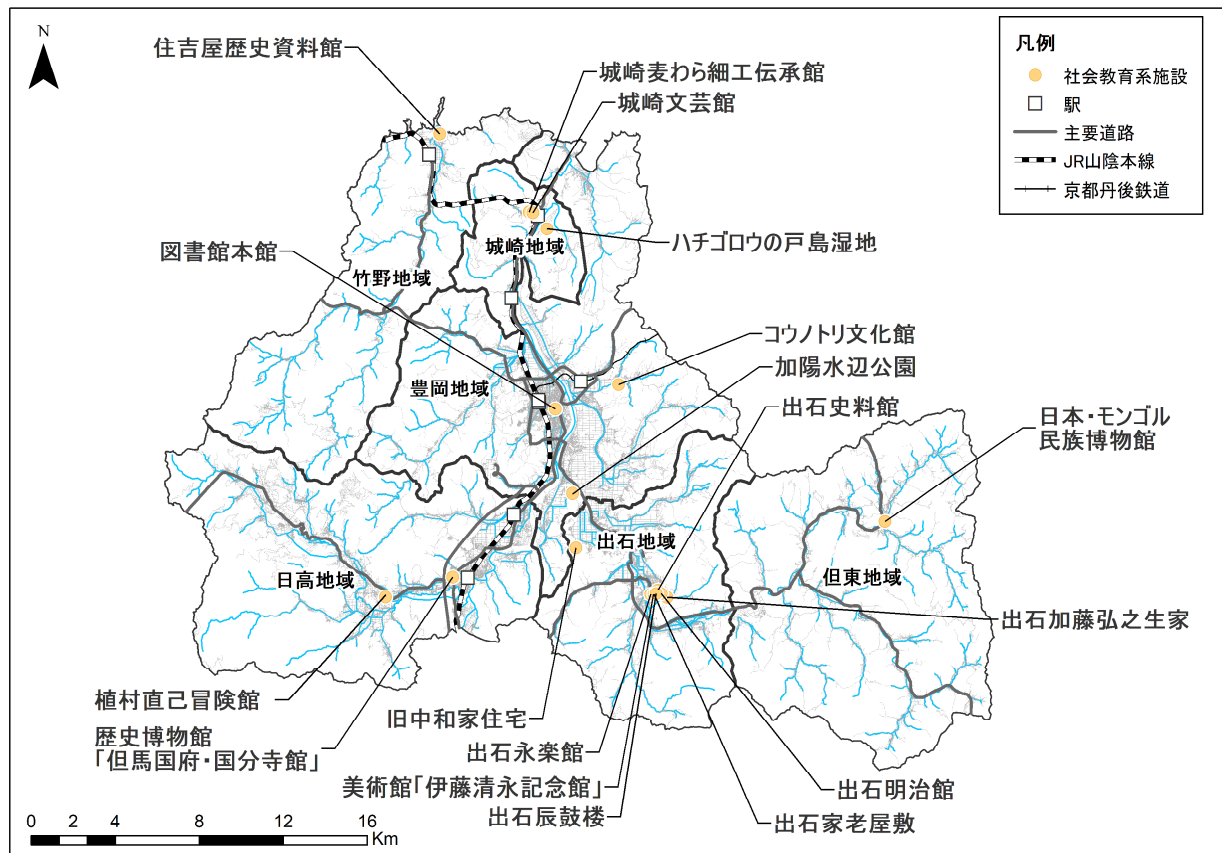
No	施設	経過年数	再編計画第1期中の方向性	今後の方向性	維持保全方針
16	豊岡市民プラザ	23年	-	長寿命化【機能維持】	予防保全
17	城崎国際アートセンター	37年	継続	長寿命化【機能維持】	予防保全
18	出石多目的ホール	38年	-	施設のあり方を検討	予防保全

(3) 社会教育系施設

<表 対象施設一覧（社会教育系施設）>

No	施設	施設形態	地域区分	建築年度	建物構造	階数	耐震性	延床面積(m)
19	図書館本館	単独	豊岡	1998	RC	4階	新耐震	2,804
20	コミュニティ文化館	単独	豊岡	2000	W	2階	新耐震	1,008
21	城崎麦わら細工伝承館	単独	城崎	1920	土蔵	2階	未実施	77
22	住吉屋歴史資料館	単独	竹野	2000	W	1階	新耐震	489
23	城崎文芸館	単独	城崎	1995	RC	2階	新耐震	1,081
24	歴史博物館「但馬国府・国分寺館」	単独	日高	2004	S	1階	新耐震	1,452
25	美術館「伊藤清永記念館」	単独	出石	1989	RC	3階	新耐震	956
26	日本・モンゴル民族博物館	単独	但東	1996	RC	1階	新耐震	1,294
27	出石永楽館	単独	出石	1901	W	2階	改修済	706
28	旧中和家住宅	単独	出石	1899	W	2階	改修済	305
29	出石加藤弘之生家	単独	出石	1867	W	1階	未実施	111
30	出石家老屋敷	単独	出石	1867	W	2階	未実施	390
31	出石史料館	単独	出石	1911	W	2階	未実施	568
32	出石明治館	単独	出石	1886	W	2階	未実施	403
33	出石辰鼓楼	単独	出石	1871	W	4階	未実施	116
34	ハチゴロウの戸島湿地	単独	城崎	2008	W	2階	新耐震	152
35	加陽水辺公園	単独	豊岡	2017	W	1階	新耐震	191
36	植村直己冒険館	単独	日高	1994	RC	2階	新耐震	1,769

<図 対象施設の位置（社会教育系施設）>



＜表 個別施設ごとの方向性（社会教育系施設）＞

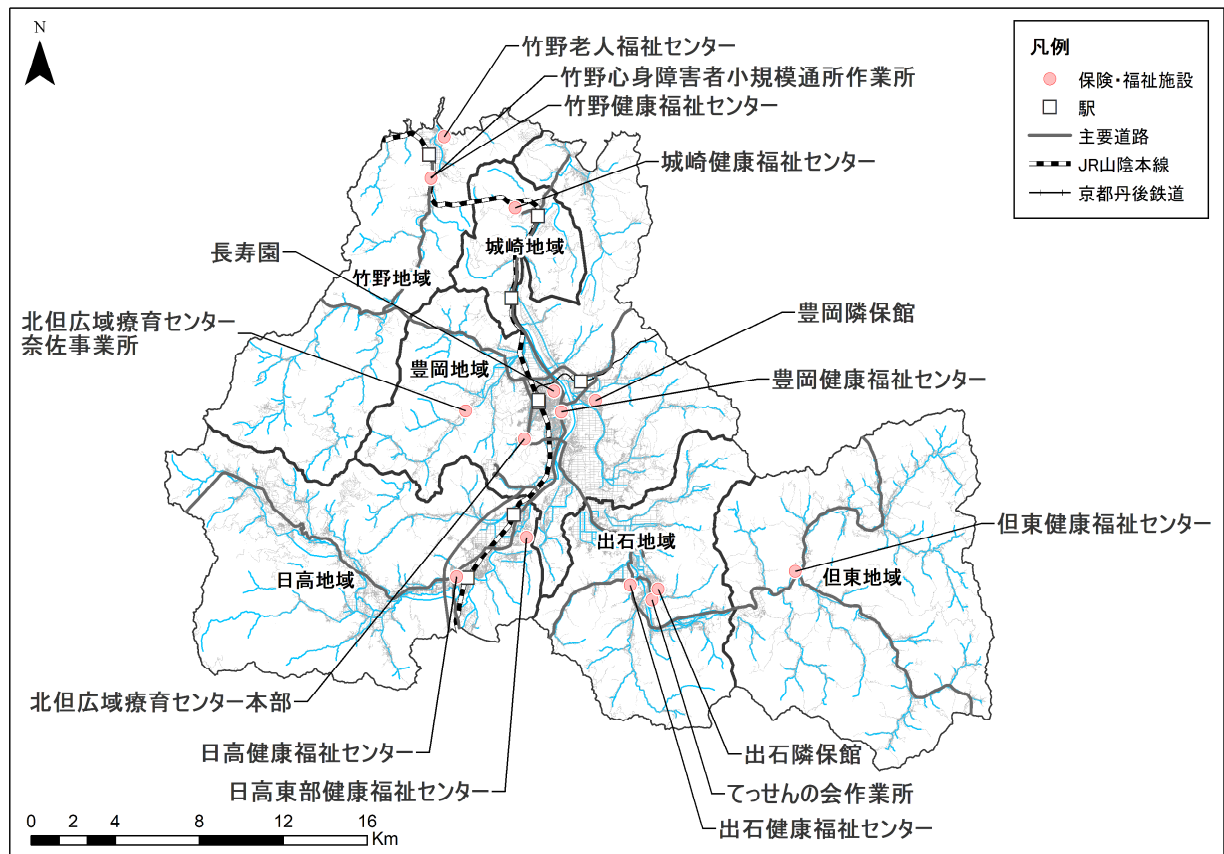
No	施設	経過 年数	再編計画 第1期中 の方向性	今後の方向性	維持保全 方針
19	図書館本館	22年	-	長寿命化 【機能維持、機能強化等を 検討】	予防保全
20	コウノリ文化館	20年	-	長寿命化【機能維持】	予防保全
21	城崎麦わら細工伝承館	100年	検討	展示機能の集約や統廃合、 他施設との複合化など、施 設のあり方を検討 使用不能と判断した段階で 建物は廃止し、機能移転を 検討	事後保全
22	住吉屋歴史資料館	20年	検討		
23	城崎文芸館	25年	検討	展示機能の集約や統廃合、 他施設との複合化など、施 設のあり方を検討 使用不能と判断した段階で 建物は廃止し、機能移転を 検討	予防保全
24	歴史博物館「但馬国府・国分寺館」	16年	検討	展示機能の集約や統廃合、 他施設との複合化など、機 能維持のあり方を検討し、建 物は使用不能と判断した段 階で廃止を検討	
25	美術館「伊藤清永記念館」	31年	検討		
26	日本・モンゴル民族博物館	24年	検討		
27	出石永楽館	119年	文化財 (対象外)	施設そのものに価値があり、 適切に保存	予防保全
28	旧中和家住宅	121年	文化財 (対象外)		
29	出石加藤弘之生家	153年	文化財 (対象外)		
30	出石家老屋敷	153年	文化財 (対象外)		
31	出石史料館	109年	文化財 (対象外)		
32	出石明治館	134年	文化財 (対象外)		
33	出石辰鼓楼	149年	文化財 (対象外)		
34	ハチゴロウの戸島湿地	12年	-	現在の配置・機能を維持	予防保全
35	加陽水辺公園	3年	-	現在の配置・機能を維持 利活用促進を検討	予防保全
36	植村直己冒険館	26年	検討	PFI 事業制度を活用した民 間事業者による運営・維持 管理	予防保全

(4) 保健・福祉施設

<表 対象施設一覧（保健・福祉施設）>

No	施設	施設形態	地域区分	建築年度	建物構造	階数	耐震性	延床面積 (㎡)
37	豊岡健康福祉センター	単独	豊岡	1981	RC	3階	改修済	2,954
38	日高東部健康福祉センター	単独	日高	2004	RC	1階	新耐震	1,831
39	城崎健康福祉センター	単独	城崎	1994	SRC	3階	新耐震	2,336
40	竹野健康福祉センター	単独	竹野	2004	SRC	2階	新耐震	1,759
41	日高健康福祉センター	単独	日高	1993	RC	2階	新耐震	3,123
42	出石健康福祉センター	単独	出石	1995	RC	1階	新耐震	2,096
43	但東健康福祉センター	単独	但東	2002	RC	2階	新耐震	3,178
44	長寿園	単独	豊岡	1996	RC	3階	新耐震	1,018
45	竹野老人福祉センター	単独	竹野	1985	RC	2階	新耐震	802
46	北但広域療育センター本部	単独	豊岡	2008	SRC	1階	新耐震	873
47	北但広域療育センター奈佐事業所	単独	豊岡	1986	RC	1階	新耐震	261
48	竹野心身障害者小規模通所作業所	単独	竹野	2001	W	1階	新耐震	201
49	てっせんの会作業所	単独	出石	1966	W	1階	未実施	161
50	豊岡隣保館	単独	豊岡	2005	W	2階	新耐震	297
51	出石隣保館	単独	出石	1974	RC	2階	未実施	274

<図 対象施設の位置（保健・福祉施設）>



<表 個別施設ごとの方向性（保健・福祉施設）>

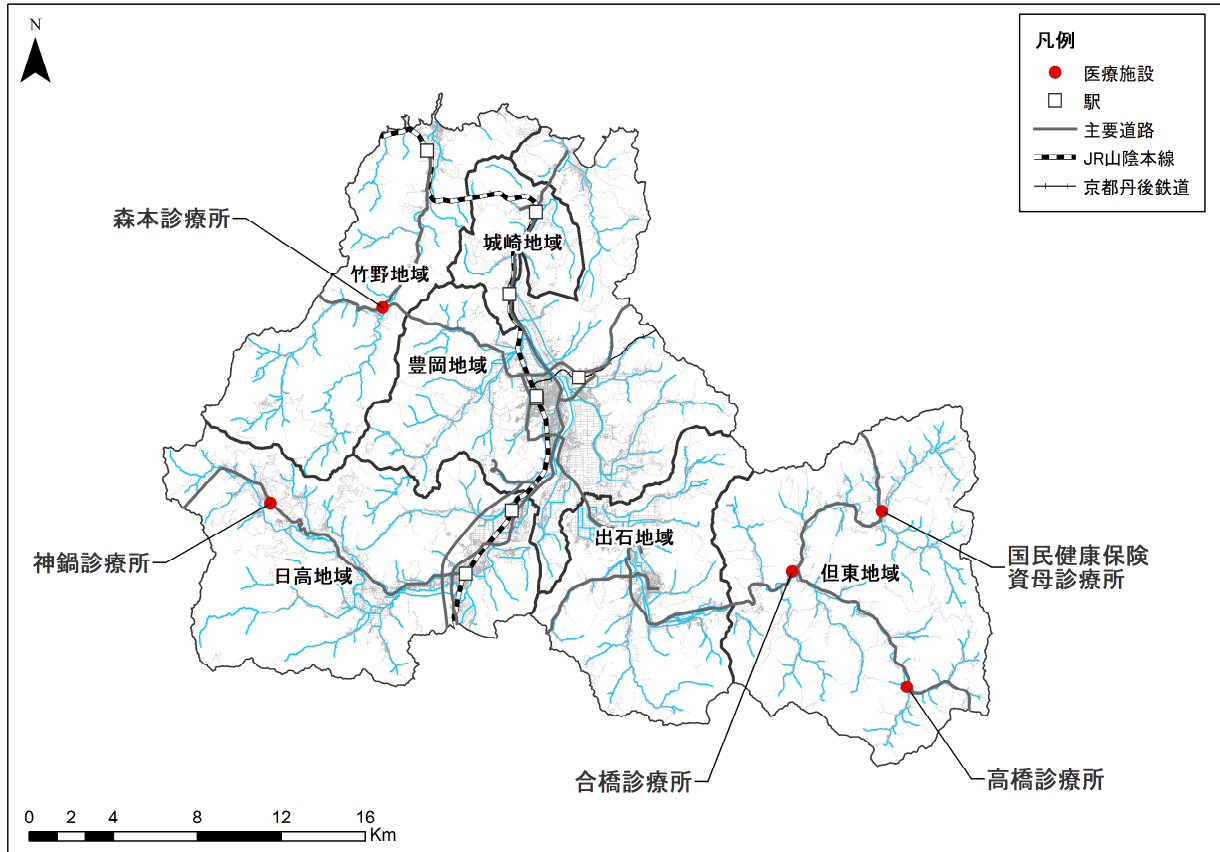
No	施設	経過 年数	再編計画 第1期中 の方向性	今後の方向性	維持保全 方針
37	豊岡健康福祉センター	39年	継続	隣接公共施設の解体・周辺環境整備にあわせ、廃止を検討	事後保全
38	日高東部健康福祉センター	16年	-	施設機能を再整理し維持	予防保全
39	城崎健康福祉センター	26年	検討	施設機能を見直し、複合化・民間移管等を検討	事後保全
40	竹野健康福祉センター	16年	検討		
41	日高健康福祉センター	27年	検討		
42	出石健康福祉センター	25年	検討		
43	但東健康福祉センター	18年	検討		
44	長寿園	24年	検討	用途転用や複合化等を検討し、有効活用を図る 利用状況により浴室機能は休止	予防保全
45	竹野老人福祉センター	35年	廃止・譲渡	廃止予定。 普通財産として民間貸付	事後保全
46	北但広域療育センター本部	12年	-	長寿命化【機能維持】	予防保全
47	北但広域療育センター奈佐事業所	34年	-		
48	竹野心身障害者小規模通所作業所	19年	検討	使用不能段階で施設廃止 活動場所確保は別途検討	事後保全
49	てっせんの会作業所	54年	検討		
50	豊岡隣保館	15年	-	使用不能段階で廃止又は 機能移転による事業継続を 検討	予防保全
51	出石隣保館	46年	検討		

(5) 医療施設

<表 対象施設一覧（医療施設）>

No	施設	施設 形態	地域 区分	建築 年度	建物 構造	階数	耐震性	延床面積 (㎡)
52	森本診療所	単独	竹野	1997	S	1階	新耐震	394
53	神鍋診療所	単独	日高	1987	RC	1階	新耐震	270
54	合橋診療所	単独	但東	1991	W	1階	新耐震	485
55	国民健康保険資母診療所	単独	但東	1986	W	1階	新耐震	431
56	高橋診療所	単独	但東	1982	RC	1階	新耐震	1,090

<図 対象施設の位置（医療施設）>



<表 個別施設ごとの方向性（医療施設）>

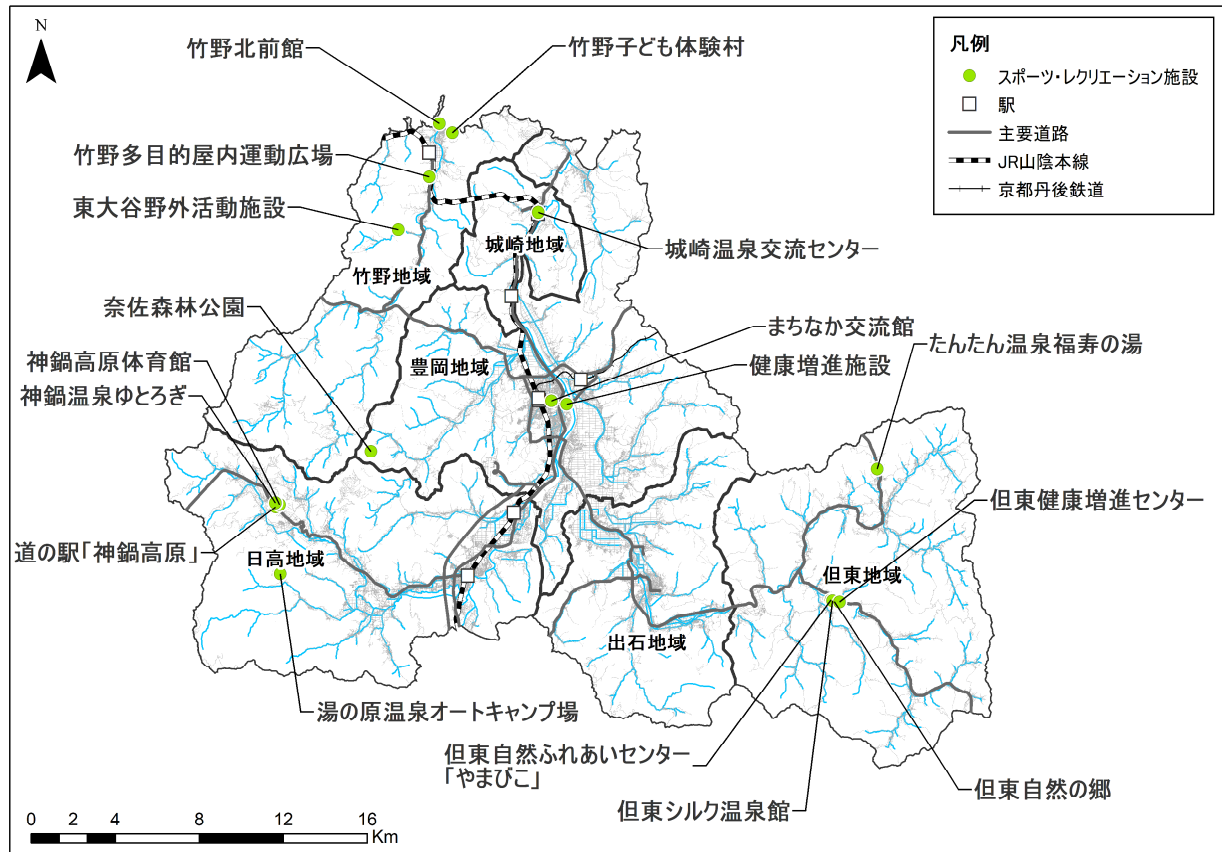
No	施設	経過 年数	再編計画 第1期中 の方向性	今後の方向性	維持保全 方針
52	森本診療所	23年	-	長寿命化 【現在の配置・機能を維持】	予防保全
53	神鍋診療所	33年	継続		
54	合橋診療所	29年	継続		
55	国民健康保険資母診療所	34年	継続		
56	高橋診療所	38年	継続		

(6) スポーツ・レクリエーション施設

<表 対象施設一覧（スポーツ・レクリエーション施設）>

No	施設	施設形態	地域区分	建築年度	建物構造	階数	耐震性	延床面積(m ²)
57	まちなか交流館	単独	豊岡	1934	RC	3階	改修済	849
58	道の駅「神鍋高原」	単独	日高	2003	RC	3階	新耐震	1,217
59	健康増進施設	単独	豊岡	2009	S・RC	2階	新耐震	3,535
60	竹野多目的屋内運動広場	単独	竹野	1995	S	1階	新耐震	1,019
61	神鍋高原体育館	単独	日高	1971	SRC	1階	新耐震	812
62	但東健康増進センター	単独	但東	2003	S	1階	新耐震	1,131
63	奈佐森林公園	単独	豊岡	1995	S	1階	新耐震	799
64	竹野子ども体験村	単独	竹野	2014	W	1階	新耐震	392
65	東大谷野外活動施設	単独	竹野	1990	W	1階	新耐震	948
66	湯の原温泉オートキャンプ場	単独	日高	1997	S	1階	新耐震	1,718
67	但東自然の郷	単独	但東	1995	W	2階	新耐震	376
68	但東自然ふれあいセンター「やまびこ」	単独	但東	1985	RC	2階	新耐震	3,475
69	城崎温泉交流センター	単独	城崎	2000	RC	4階	新耐震	1,684
70	竹野北前館	単独	竹野	1991	RC	3階	新耐震	2,028
71	神鍋温泉ゆとりぎ	単独	日高	2013	RC	1階	新耐震	939
72	但東シルク温泉館	単独	但東	1999	RC	1階	新耐震	1,552
73	たんたん温泉福寿の湯	単独	但東	2008	W	1階	新耐震	376

<図 対象施設の位置（スポーツ・レクリエーション施設）>



<表 個別施設ごとの方向性（スポーツ・レクリエーション施設）>

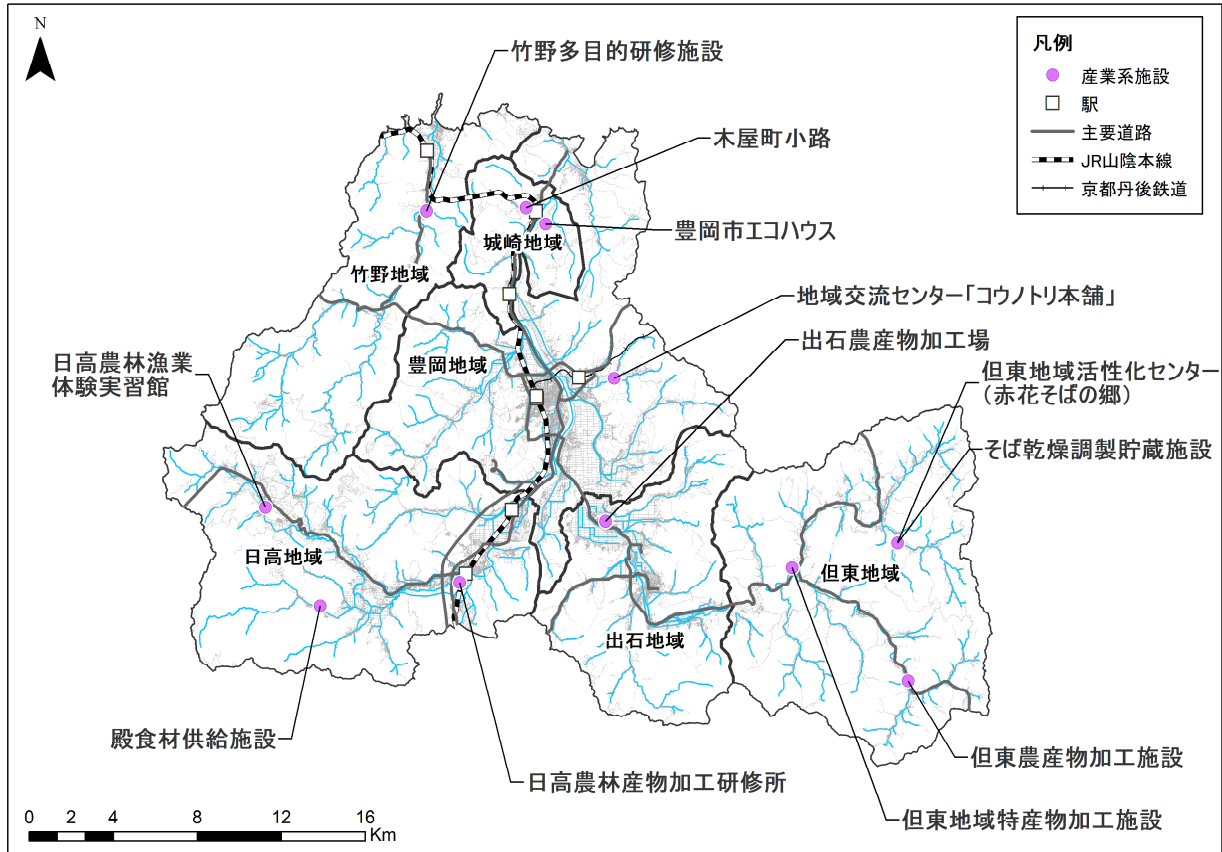
No	施設	経過 年数	再編計画 第1期中 の方向性	今後の方向性	維持保全 方針
57	まちなか交流館	86年	文化財 (対象外)	施設そのものに価値があり、 適切に保存	予防保全
58	道の駅「神鍋高原」	17年	-	長寿命化 【隣接施設との集約化検討】	予防保全
59	健康増進施設	11年	-	長寿命化【機能を維持】	予防保全
60	竹野多目的屋内運動広場	25年	継続		
61	神鍋高原体育館	49年	譲渡・廃止	民間移管又は廃止を検討	事後保全
62	但東健康増進センター	17年	-	長寿命化【機能を維持】	予防保全
63	奈佐森林公園	25年	検討	当面は機能を維持 利用状況により廃止検討	事後保全
64	竹野子ども体験村	6年	-	長寿命化【機能を維持】	予防保全
65	東大谷野外活動施設	30年	検討	民間移管又は廃止を検討	事後保全
66	湯の原温泉オートキャンプ場	23年	譲渡・ 一部廃止	民営化を基本とし、民間受 け皿がない場合は温泉機能 を廃止	事後保全
67	但東自然の郷	25年	継続	長寿命化【機能を維持】	予防保全
68	但東自然ふれあいセンター「やまびこ」	35年	継続		
69	城崎温泉交流センター	20年	-		
70	竹野北前館	29年	検討	機能維持を最優先に大規 模改修は控える 温泉施設収支を見きわめた 上で温泉機能の廃止を検討	予防保全
71	神鍋温泉ゆとろぎ	7年	-	長寿命化【機能を維持】	予防保全
72	但東シルク温泉館	21年	-		
73	たんたん温泉福寿の湯	12年	検討	機能維持を最優先に大規 模改修は控える 収支状況が好転しない場合 は民間への譲渡又は廃止を 検討	事後保全

(7) 産業系施設

<表 対象施設一覧（産業系施設）>

No	施設	施設 形態	地域 区分	建築 年度	建物 構造	階数	耐震性	延床面積 (㎡)
74	地域交流センター「コウノリ本舗」	単独	豊岡	2006	W	1階	新耐震	338
75	木屋町小路	単独	城崎	2008	W	2階	新耐震	700
76	竹野多目的研修施設	単独	竹野	1982	W	1階	新耐震	153
77	日高農林漁業体験実習館	単独	日高	1993	S	2階	新耐震	892
78	殿食材供給施設	単独	日高	2005	W	1階	新耐震	312
79	日高農林産物加工研修所	単独	日高	1987	W	1階	新耐震	203
80	出石農産物加工場	単独	出石	1995	S	1階	新耐震	153
81	但東地域特産物加工施設	単独	但東	1984	W	1階	新耐震	184
82	但東農産物加工施設	単独	但東	2001	W	1階	新耐震	191
83	そば乾燥調製貯蔵施設	単独	但東	2000	S	1階	新耐震	300
84	但東地域活性化センター(赤花そばの郷)	単独	但東	1990	W	1階	新耐震	519
85	豊岡市エコハウス	単独	城崎	2009	W	2階	新耐震	168

<図 対象施設の位置（産業系施設）>



<表 個別施設ごとの方向性（産業系施設）>

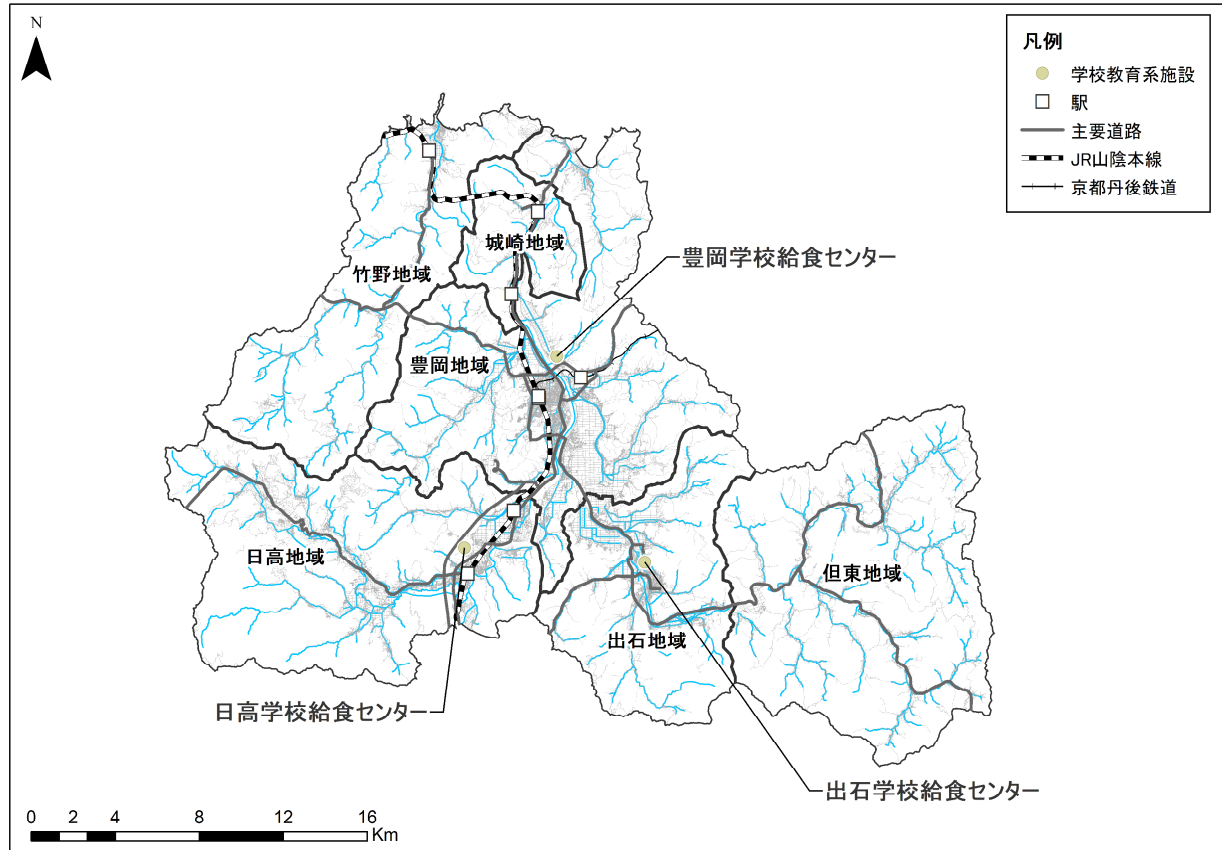
No	施設	経過 年数	再編計画 第1期中 の方向性	今後の方向性	維持保全 方針
74	地域交流センター「コウノトリ本舗」	14年	-	長寿命化 【現在の配置・機能を維持】	予防保全
75	木屋町小路	12年	-		
76	竹野多目的研修施設	38年	譲渡・廃止	民間移管又は廃止を検討	事後保全
77	日高農林漁業体験実習館	27年	継続	長寿命化【道の駅「神鍋高原」の方向性に従う】	予防保全
78	殿食材供給施設	15年	譲渡・廃止	民間移管又は廃止を検討 地域活性化に向けた機能再編、強化についても検討	事後保全
79	日高農林産物加工研修所	33年	譲渡・廃止	民間移管又は廃止を検討	事後保全
80	出石農産物加工場	25年	譲渡・廃止		
81	但東地域特産物加工施設	36年	譲渡・廃止		
82	但東農産物加工施設	19年	譲渡・廃止		
83	そば乾燥調製貯蔵施設	20年	譲渡・廃止	民間移管又は廃止を検討 地域活性化に向けた機能再編、強化についても検討	事後保全
84	但東地域活性化センター（赤花そばの郷）	30年	譲渡・廃止		
85	豊岡市エコハウス	11年	-	当面、現在の配置・機能を維持するが、有効活用を検討	予防保全

(8) 学校教育系施設

<表 対象施設一覧（学校教育系施設）>

No	施設	施設形態	地域区分	建築年度	建物構造	階数	耐震性	延床面積(m ²)
86	豊岡学校給食センター	単独	豊岡	2000	S	2階	新耐震	1,903
87	日高学校給食センター	単独	日高	1997	SRC	2階	新耐震	872
88	出石学校給食センター	単独	出石	2013	S	1階	新耐震	1,738

<図 対象施設の位置（学校教育系施設）>



<表 個別施設ごとの方向性（学校教育系施設）>

No	施設	経過年数	再編計画第1期中の方向性	今後の方向性	維持保全方針
86	豊岡学校給食センター	20年	-	児童・生徒数の動向を見きわめ機能集約を検討	予防保全
87	日高学校給食センター	23年	-		
88	出石学校給食センター	7年	-		

(9) 子育て支援施設

<表 対象施設一覧（子育て支援施設）>

No	施設	施設形態	地域区分	建築年度	建物構造	階数	耐震性	延床面積(m ²)
89	豊岡めぐみ幼稚園 ※1	複合	豊岡	1987	RC	1階	新耐震	643
	豊岡放課後児童クラブ	-	-	-	-	-	-	(198)
90	豊岡ひかり幼稚園 ※2	複合	豊岡	1970	W	1階	未実施	702
	豊岡第2放課後児童クラブ	-	-	-	-	-	-	(224)
91	田鶴野幼稚園 ※3	複合	豊岡	1990	RC	1階	新耐震	417
	田鶴野放課後児童クラブ	-	-	-	-	-	-	(113)
92	五荘奈佐幼稚園 ※4	複合	豊岡	2012	S	2階	新耐震	1,762
	五荘放課後児童クラブ	-	-	-	-	-	-	(297)
93	新田幼稚園 ※5	複合	豊岡	1990	RC	1階	新耐震	416
	新田放課後児童クラブ	-	-	-	-	-	-	(184)
94	中筋幼稚園	単独	豊岡	1982	RC	1階	新耐震	413
95	神美幼稚園 ※6	複合	豊岡	1999	W	1階	新耐震	413
	神美放課後児童クラブ	-	-	-	-	-	-	(86)
96	日高幼稚園 ※7	複合	日高	2001	RC	1階	新耐震	860
	日高第2放課後児童クラブ	-	-	-	-	-	-	(231)
97	出石幼稚園 ※8	複合	出石	1982	RC	1階	新耐震	700
	弘道放課後児童クラブ	-	-	-	-	-	-	(186)
98	福住幼稚園 ※9	複合	出石	1986	RC	1階	新耐震	328
	福住放課後児童クラブ	-	-	-	-	-	-	(228)
99	寺坂幼稚園 ※10	複合	出石	1985	RC	1階	新耐震	207
	寺坂放課後児童クラブ	-	-	-	-	-	-	(123)
100	西保育園	単独	豊岡	2006	W	1階	新耐震	1,142
101	森本へき地保育園	単独	竹野	1968	W	1階	未実施	479
102	八条認定こども園	単独	豊岡	2002	W	1階	新耐震	1,604
103	港認定こども園	単独	豊岡	1992	W	1階	新耐震	732
104	竹野認定こども園	単独	竹野	2011	W	1階	新耐震	884
105	合橋認定こども園	単独	但東	1977	RC	1階	未実施	811
106	高橋認定こども園	単独	但東	1977	W	1階	未実施	556
107	資母認定こども園	単独	但東	1978	RC	1階	未実施	613
108	八条放課後児童クラブ	単独	豊岡	2014	W	1階	新耐震	182
109	三江放課後児童クラブ	単独	豊岡	2000	W	1階	新耐震	413
110	五荘第2放課後児童クラブ	単独	豊岡	2017	W	1階	新耐震	231
111	清滝放課後児童クラブ	単独	豊岡	1997	RC	1階	新耐震	208
112	小坂放課後児童クラブ	単独	豊岡	1988	RC	1階	新耐震	310
113	小野放課後児童クラブ	単独	豊岡	1987	RC	1階	新耐震	298
114	竹野子育てセンター	単独	豊岡	1965	S	2階	未実施	422

※1 豊岡めぐみ幼稚園は、豊岡放課後児童クラブとの複合施設です。

※2 豊岡ひかり幼稚園は、豊岡第2放課後児童クラブとの複合施設です。

※3 田鶴野幼稚園は、田鶴野放課後児童クラブとの複合施設です。

※4 五荘奈佐幼稚園は、五荘放課後児童クラブとの複合施設です。

※5 新田幼稚園は、新田放課後児童クラブとの複合施設です。

※6 神美幼稚園は、神美放課後児童クラブとの複合施設です。

※7 日高幼稚園は、日高第2放課後児童クラブとの複合施設です。

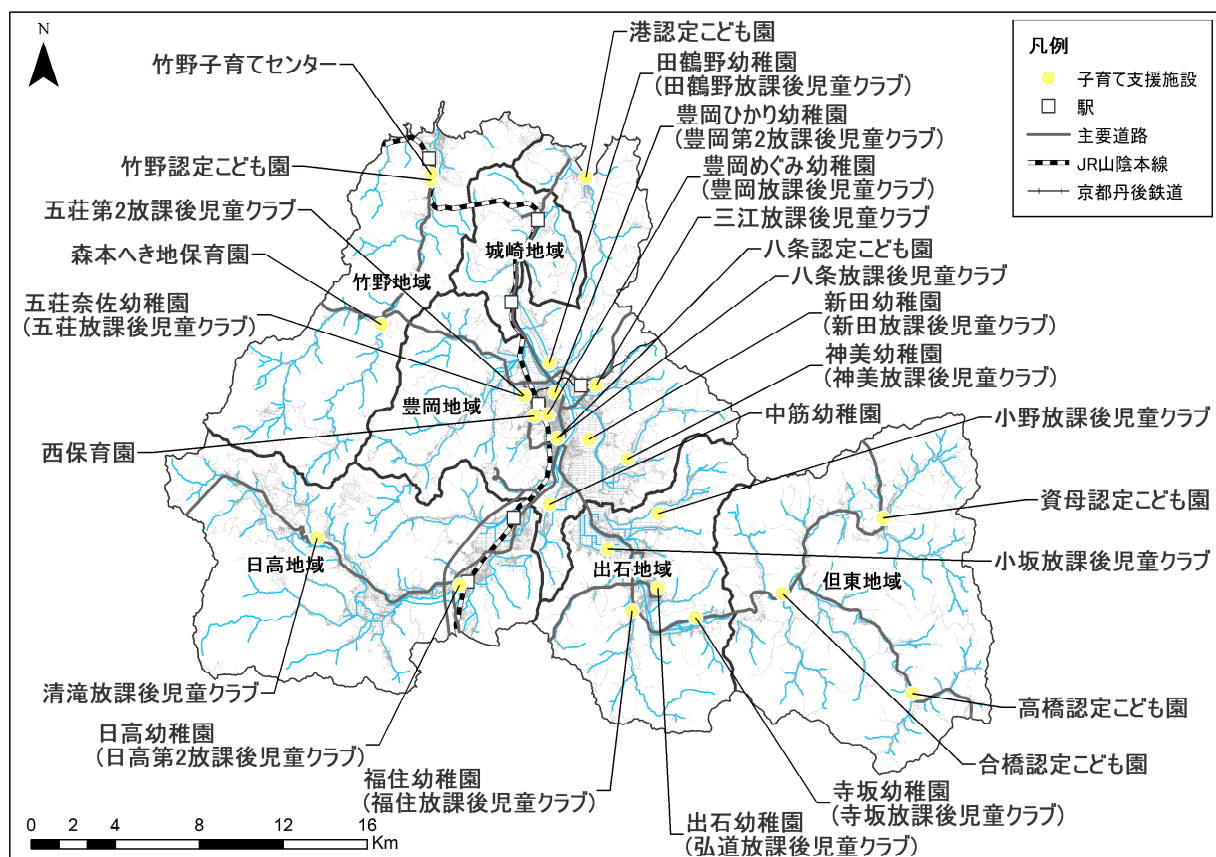
※8 出石幼稚園は、弘道放課後児童クラブとの複合施設です。

※9 福住幼稚園は、福住放課後児童クラブとの複合施設です。

※10 寺坂幼稚園は、寺坂放課後児童クラブとの複合施設です。

注) ※1～※10の延床面積は、主用途施設の面積であり、従たる施設の使用面積は内数として()書きしています。

<図 対象施設の位置（子育て支援施設）>



<表 個別施設ごとの方向性（子育て支援施設）>

No	施設	経過 年数	再編計画 第1期中 の方向性	今後の方向性	維持保全 方針
89	豊岡めぐみ幼稚園	33年	継続	民間移管	事後保全
90	豊岡ひかり幼稚園	50年	継続	統合・施設廃止	事後保全
91	田鶴野幼稚園	30年	継続	民間に機能移転・当面、放 課後児童クラブ単独施設化	事後保全
92	五荘奈佐幼稚園	8年	-	民間移管	事後保全
93	新田幼稚園	30年	継続	民間に機能移転・当面、放 課後児童クラブ単独施設化	事後保全
94	中筋幼稚園	38年	継続	民間に機能移転・施設廃止	事後保全
95	神美幼稚園	21年	-	民間に機能移転・当面、放 課後児童クラブ単独施設化	事後保全
96	日高幼稚園	19年	-		
97	出石幼稚園	38年	統合		
98	福住幼稚園	34年	継続		
99	寺坂幼稚園	35年	統合		
100	西保育園	14年	-	現在の配置・機能を維持	予防保全
101	森本へき地保育園	52年	検討	統合・施設廃止	事後保全
102	八条認定こども園	18年	-	現在の配置・機能を維持	予防保全
103	港認定こども園	28年	-		
104	竹野認定こども園	9年	-		
105	合橋認定こども園	43年	統合	統合【1施設新規整備】・ 現有施設は廃止	事後保全
106	高橋認定こども園	43年	統合		
107	資母認定こども園	42年	統合		
108	八条放課後児童クラブ	6年	-		
109	三江放課後児童クラブ	20年	-	現在の配置・機能を維持	予防保全
110	五荘第2放課後児童クラブ	3年	建替	現在の配置・機能を維持	予防保全

No	施設	経過年数	再編計画第1期中の方向性	今後の方向性	維持保全方針
111	清滝放課後児童クラブ	23年	-	当面、現在の配置・機能を維持	予防保全
112	小坂放課後児童クラブ	32年	検討		
113	小野放課後児童クラブ	33年	検討		
114	竹野子育てセンター	55年	移転	機能移転を検討	事後保全

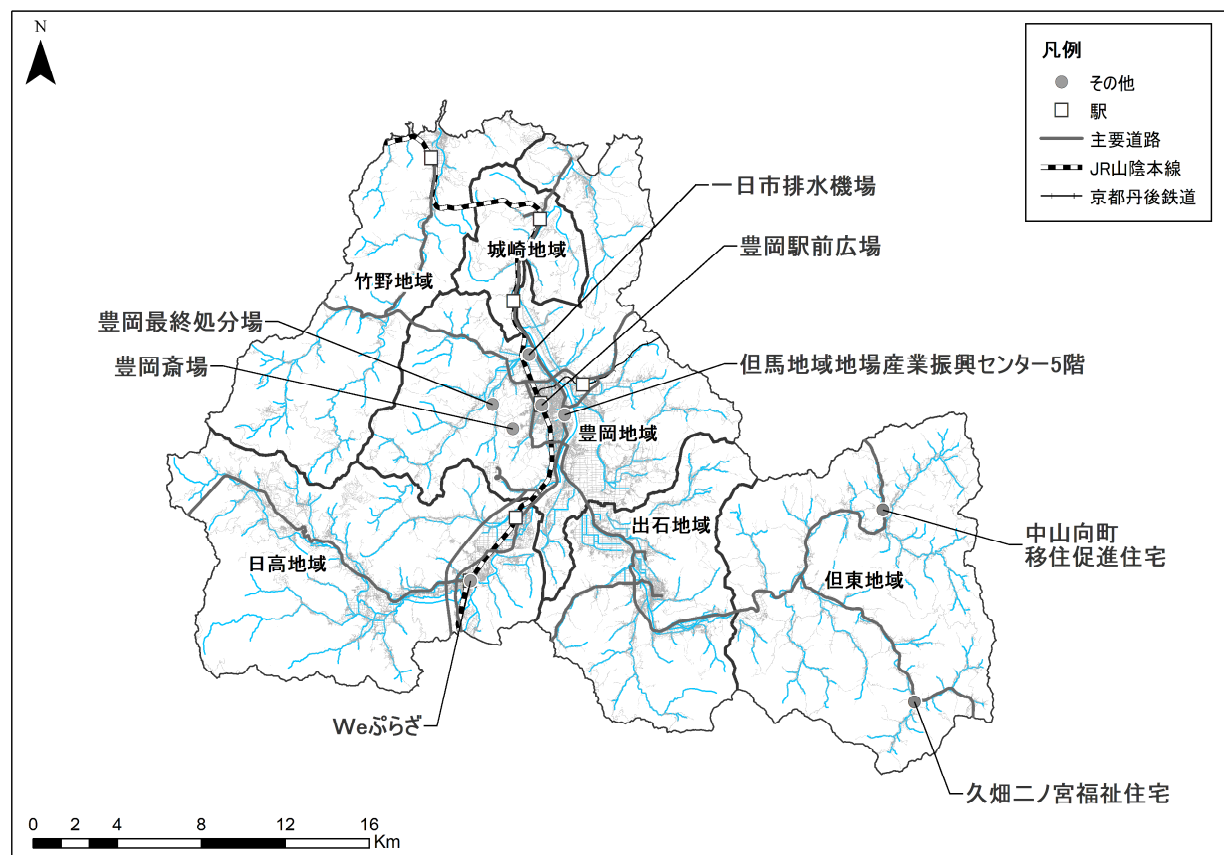
※子育て支援施設に係る「今後の方向性」欄は、「豊岡市における幼児教育・保育および放課後児童のあり方計画（2021年2月策定）」の再編・統合計画を転載しています。

(10) その他

<表 対象施設一覧（その他）>

No	施設	施設形態	地域区分	建築年度	建物構造	階数	耐震性	延床面積(m ²)
115	久畑二ノ宮福祉住宅	単独	但東	1996	W	1階	新耐震	505
116	中山向町移住促進住宅	単独	但東	1996	W	1階	新耐震	495
117	但馬地域地場産業振興センター5階	単独	豊岡	1989	SRC	5階	-	262
118	豊岡最終処分場	単独	豊岡	2000	RC	2階	新耐震	700
119	一日市排水機場	単独	豊岡	1999	RC	2階	新耐震	334
120	豊岡斎場	単独	豊岡	1984	RC	2階	新耐震	765
121	豊岡駅前広場	単独	豊岡	2011	W	1階	新耐震	229
122	Weぷらざ	単独	日高	1990	S	2階	新耐震	779

<図 対象施設の位置（その他）>



<表 個別施設ごとの方向性（その他）>

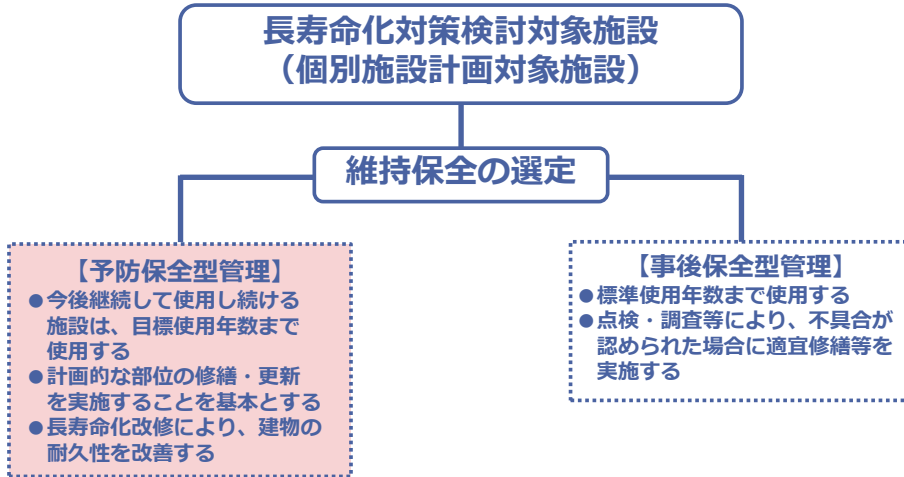
No	施設	経過 年数	再編計画 第1期中 の方向性	今後の方向性	維持保全 方針
115	久畑二ノ宮福祉住宅	24年	継続	普通財産として民間貸付 使用不能段階で施設廃止	事後保全
116	中山向町移住促進住宅	24年	転用済	長寿命化	予防保全
117	但馬地域地場産業振興センター5階	31年	-	【現在の配置・機能を維持】	
118	豊岡最終処分場	20年	-	現在の配置・機能を維持	予防保全
119	一日市排水機場	21年	ポンプ場		
120	豊岡斎場	36年	継続	長寿命化【機能維持】	予防保全
121	豊岡駅前広場	9年	-	現在の配置・機能を維持	予防保全
122	We ふらぎ	30年	交通関係 施設 (対象外)	長寿命化	予防保全

3 維持保全の考え方

(1) 予防保全型により長寿命化を図る施設

個別施設ごとの方向性を示した 122 施設のうち、今後、当面の間は継続的に使用していく可能性の高い施設で、将来費用の負担が大きいことが予測される 80 施設について予防保全型の管理を行います。

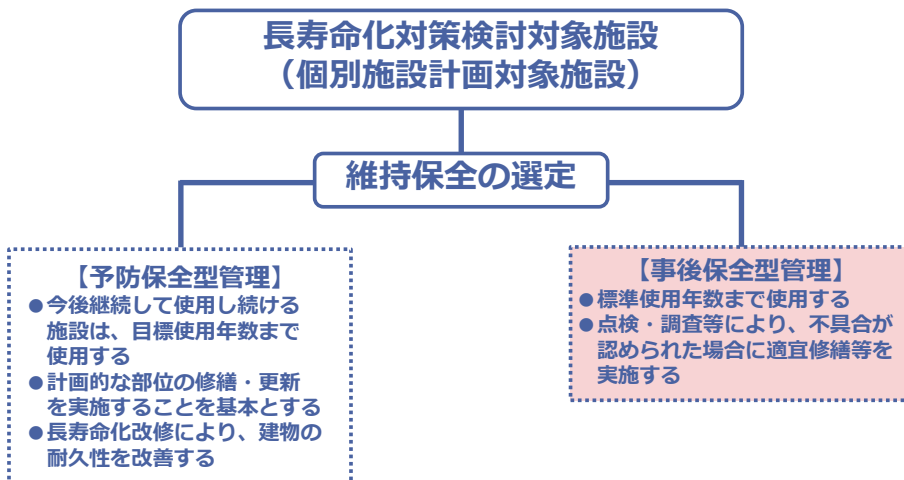
<図 維持保全手法（予防保全型管理）>



(2) 事後保全型により維持保全を図っていく施設

個別施設ごとの方向性を示した 122 施設のうち、今後、譲渡・廃止する予定の 42 施設については、現在使用されている施設であるため、譲渡・廃止または標準使用年数まで使用するものとし、事後保全型による管理を行うこととします。

<図 維持保全手法（事後保全型管理）>



4 保全計画

保全計画では、「表 類型別の保全計画」に予防保全型の維持保全を図っていく施設について、部位・部材ごとの保全周期に基づいた更新周期および建替えの時期を示します。また、事後保全型の維持保全を図る施設については、利用上の支障となる劣化等について、その都度対応することを前提としていますが、修繕・更新等の時期の目安と解体時期を示します。

予防保全型の維持保全を行う80施設の建替えの時期については、「第3章 整備、保全の基本方針」で示した目標使用年数とします。また、事後保全型の維持保全を行う42施設の解体時期は「第3章 整備、保全の基本方針」で示した標準使用年数とします。

ただし、表中「解体時期」、「建替え」の表記は、財政負担の概要を算出するため、理論上の時期を判定したもので、将来の実施時期等を確定したものではありません。

予防保全費用は、部位・部材ごとの保全周期に基づいて計上しており、各年度に実際の工事を実施するかどうかは劣化等の状況によります。また、比較的大規模な改修・更新については、その工事に関連した部位の工事も同時に実施することにより、改修・更新費用の低減を図ることができます。

なお、保全計画費用は消費税を含んでいません。

<表 保全計画の項目の設定（建築と設備の内訳）>

建築	屋根・屋上、外部、内部
設備	電気設備、給排水・衛生・消防設備、空調設備、搬送設備、避難施設、その他

※（注意）

次ページ以降に掲載する各表の保全費用は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。

(1) 行政系施設

<表 行政系施設の保全計画（各部位の修繕・更新時期）>

施設 番号	施設名	建築 年度	維持保全 方針	区分	15年間 合計 (百万円)	年														
						2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
1	豊岡市役所	2013	予防保全	建築	248			64					8					175		
				設備	931	25	6	79		32		30	434	18		12			282	8
2	城崎庁舎 ※1	2003	予防保全	建築	89		6	42					4					37		
				設備	502	3		99	22		2	18	41	1	6	2	3	302		
3	竹野庁舎 ※2	2000	予防保全	建築	48					5						40				3
				設備	376	2		2	19	44	1	6	3	4	268			3	1	7
4	日高庁舎 ※3	1981	予防保全	建築	322	267						3					51			
				設備	431	192		4	1	5	126	4	7	5	1	64	2	7		
5	但東庁舎 ※4	1994	予防保全	建築	295			67						3				225		
				設備	648	8	8	1	368		8		11	25	5	2	7		206	
6	豊岡市役所立野庁舎	2010	予防保全	建築	48					2					45					2
				設備	241	1	8		8	95	5		2		71	2	1	2	5	42
7	豊岡稽古堂 ※5	1927	予防保全	建築	40	7	1					30						1		
				設備	104	2	6	9		1		43	2			1	32	2	3	1
8	豊岡市防災センター	2002	予防保全	建築	8		4											3		
				設備	16		3					3					9			
9	豊岡防災公園	2014	予防保全	建築	10				3											7
				設備	11				2					3						
10	円山川防災センター	1998	予防保全	建築	11			1					9					1		
				設備	76		4	10		1	1	1	50		1		2	4	1	
11	消防本部・豊岡消防署	1989	予防保全	建築	102	15			2						82				3	
				設備	142	41		3	8	1		1		50		1	1	4	32	1
12	城崎分署	2014	予防保全	建築	25				8						1				17	
				設備	53	2	1		8		2		2	17	1		1		19	1
13	城崎分署竹野出張所	1982	予防保全	建築	29		24											4		
				設備	28		12				1	5		1	2		6			
14	日高分署	1983	予防保全	建築	39			33										5		
				設備	39		1	16				1	7		1	3		9		1
15	出石分署	1984	予防保全	建築	38				33										5	
				設備	26				13						3					8

※1 城崎庁舎は、城崎市民センター、図書館城崎分館、城崎子育てセンター、城崎地区コミュニティセンターとの複合施設です。

※2 竹野庁舎は、竹野地区コミュニティセンター、図書館竹野分館との複合施設です。

※3 日高庁舎は、図書館日高分館、日高子育てセンターとの複合施設です。

※4 但東庁舎は、但東市民センター、但東子育てセンター、図書館但東分館、但東歯科診療所、東井義雄記念館、出石分署但東駐在所、合橋地区コミュニティセンターとの複合施設です。

※5 豊岡稽古堂は、市議会議場との複合施設です。

<表 ユニバーサルデザイン化事業の対象施設・対策内容等>

施設番号	対象施設	対策内容	実施時期	概算事業費 (百万円)
4	日高庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場からの動線整備（段差・スロープ勾配の改善、階段改善、路面溝改修整備） ・視覚障害者用ブロック整備 ・庁舎玄関自動ドア整備 ・階段手摺両側設置 ・利用者トイレ・多機能トイレの整備（湿式トイレから乾式トイレへ、段差等解消） ・障害者用駐車場・兵庫ゆずりあい駐車スペースの設置 ・出入口にインターホンの設置 ・庁舎施設受付案内サイン（わかりやすい表示）整備 	2024年度 ～2025年度	92

※概算事業費は、日高庁舎の保全計画に係る15年間合計費用の内数です。

(2) 市民文化系施設

<表 市民文化系施設の保全計画（各部位の修繕・更新時期）>

施設番号	施設名	建築年度	維持保全方針	区分	15年間合計 (百万円)	年次															
						2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035	
16	豊岡市民プラザ	1997	予防保全	建築	35			1													
				設備	265	3	28	1	4	4		32					5	12	3	1	3
17	城崎国際アートセンター	1983	予防保全	建築	160	34		82						1							
				設備	365	5	4	165		3	1	4	106	4	6	4	1	55	2	6	
18	出石多目的ホール	1982	予防保全	建築	37		31														
				設備	46	13	13				1	7				3		8			1

(4) 保健・福祉施設

<表 保健・福祉施設の保全計画（各部位の修繕・更新時期）>

施設 番号	施設名	建築 年度	維持保全 方針	区分	15年間 合計 (百万円)	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
37	豊岡健康福祉センター	1981	事後保全	建築	239	200					4					35				
				設備	252	98		2	1	5	55	1	4	18	1	52	2	4	4	6
38	日高東部健康福祉センター	2004	予防保全	建築	58			29						4					25	
				設備	215	3	1		31	1		1	11	27		3	2	2	132	
39	城崎健康福祉センター	1994	事後保全	建築	170				31					2					137	
				設備	328	4	2	3	210		3	1	6	14	3	1	1	3	77	
40	竹野健康福祉センター	2004	事後保全	建築	55				26					3					26	
				設備	204	2	1		27	1		1	10	26		2	1	2	130	
41	日高健康福祉センター	1993	事後保全	建築	208			42					1					165		
				設備	427	6	1	252		5		7	16	4	1	4		130		3
42	出石健康福祉センター	1995	事後保全	建築	159					29					2					128
				設備	255	1	4	2	3	151		2		5	13	2	1	1	2	69
43	但東健康福祉センター	2002	事後保全	建築	95		48						5				42			
				設備	430	1	54	2		2	20	47	1	6	3	4	286		4	1
44	長寿園	1996	予防保全	建築	17	1					14					1				
				設備	105	15		1	1	1	75		1		2	6	1		1	1
45	竹野老人福祉センター	1985	事後保全	建築	65					54					1				9	
				設備	58				1	25				1	11			4	14	
46	北但広域療育センター本部	2008	予防保全	建築	17			1					14					2		
				設備	51		2	13					15			0	5	13	1	
47	北但広域療育センター奈佐事業所	1986	事後保全	建築	16						16									
				設備	11	1						7				2				
48	竹野心身障害者小規模通所作業所	2001	事後保全	建築	6	3										3				
				設備	13	2						3				7				
49	てっせんの会作業所	1966	事後保全	建築 設備	1	解体時期 2006	解体時期 の設定													
50	豊岡隣保館	2005	予防保全	建築	9					4										4
				設備	20					4					4					11
51	出石隣保館	1974	予防保全	建築	11	1			3										6	
				設備	26		1		5					1					18	

(5) 医療施設

<表 医療施設の保全計画（各部位の修繕・更新時期）>

施設 番号	施設名	建築 年度	維持保全 方針	区分	15年間 合計 (百万円)															
						2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
52	森本診療所	1997	予防保全	建築	7		1					6								
				設備	22		5					13				2				
53	神鍋診療所	1987	予防保全	建築	18							18								
				設備	17		2					8				4				
54	合橋診療所	1991	予防保全	建築	40	7										33				
				設備	33	17						3					12			
55	国民健康保険資母診療所	1986	予防保全	建築	29							28								
				設備	16	2						10					2			
56	高橋診療所	1982	予防保全	建築	109		92						2						15	
				設備	56		28							7						18

設計
2035

建替え
2036

(6) スポーツ・レクリエーション施設

<表 スポーツ・レクリエーション施設の保全計画（各部位の修繕・更新時期）>

施設 番号	施設名	建築 年度	維持保全 方針	区分	15年間 合計 (百万円)	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
57	まちなか交流館	1934	予防保全	建築	41	4			12					1						25
				設備	97	1	1		63		1		2	3	1			1		
58	道の駅「神鍋高原」	2003	予防保全	建築	27			1	9										16	
				設備	157	2	5	23	1		1	1	12	1	2	2			106	
59	健康増進施設	2009	予防保全	建築	64	0			3					54						6
				設備	224	6		6	69	2		3		60	2		2	22	52	1
60	竹野多目的屋内運動広場	1995	予防保全	建築	83					14					1					68
				設備	89		1			53					6	1				
61	神鍋高原体育館	1971	事後保全	建築	10	10					1									
				設備	19	14		1		1	3									
62	但東健康増進センター	2003	予防保全	建築	37				17				3						17	
				設備	132	1		19	1		1	7	17		2	1	1	82		1
63	奈佐森林公園	1995	事後保全	建築	65					11					1					53
				設備	57					30					4					
64	竹野子ども体験村	2014	予防保全	建築	10				3											6
				設備	11				2					2						
65	東大谷野外活動施設	1990	事後保全	建築	1				1											
				設備	7					5										
66	湯の原温泉オートキャンプ場	1997	事後保全	建築	36		21					14						2		
				設備	107	4	25		1	1		64		1		1	10	1		
67	但東自然の郷	1995	予防保全	建築	27					5										22
				設備	31	3	1			14				1	2					
68	但東自然ふれあいセンター「やまびこ」	1985	予防保全	建築	361		74	27		219					3					38
				設備	297	10	1	2	5	115		2	1	6	65	1	5	22	1	61
69	城崎温泉交流センター	2000	予防保全	建築	34		10			1					21					1
				設備	191	3	3	1	10	25		3	1	2	126		2	1	4	10
70	竹野北前館	1991	予防保全	建築	156	27					2					128				
				設備	282	183		2	1	5	12	2	1	1	3	67			1	1
71	神鍋温泉ゆとろぎ	2013	予防保全	建築	22			7					1						15	
				設備	41	1	3	6		1			14			1			16	
72	但東シルク温泉館	1999	予防保全	建築	26				3					21						1
				設備	168		1	10	23		3	1	2	112		2		4	9	2
73	たんたん温泉福寿の湯	2008	事後保全	建築	7								6						1	
				設備	22		1	6						6				2	6	

(7) 産業系施設

<表 産業系施設の保全計画（各部位の修繕・更新時期）>

施設番号	施設名	建築年度	維持保全方針	区分	15年間合計 (百万円)	年														
						2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
74	地域交流センター「コウノトリ本舗」	2006	予防保全	建築設備	6						5					1				
					17	5				5				2	4					
75	木屋町小路	2008	予防保全	建築設備	12								11					1		
					39		1	11		0		11				4	10		1	
76	竹野多目的研修施設	1982	事後保全	建築設備			解体時期													
77	日高農林漁業体験実習館	1993	予防保全	建築設備	62				11				1					50		
					102	1	1	61		1		2	5	1	0	1	28			
78	殿食材供給施設	2005	事後保全	建築設備	10					5					1					4
					30					5				2	5					17
79	日高農林産物加工研修所	1987	事後保全	建築設備								解体時期								
80	出石農産物加工場	1995	事後保全	建築設備	14					2										12
					11					6					1				4	
81	但東地域特産物加工施設	1984	事後保全	建築設備					解体時期											
82	但東農産物加工施設	2001	事後保全	建築設備	6	3										3				
					13	2				3					7					
83	そば乾燥調製貯蔵施設	2000	事後保全	建築設備	5					1					4					
					23	2				4					14				2	
84	但東地域活性化センター（赤花そばの郷）	1990	事後保全	建築設備						3					解体時期					
85	豊岡市エコハウス	2009	予防保全	建築設備	3										3					
					6				1						2					2

47

(8) 学校教育系施設

<表 学校教育系施設の保全計画（各部位の修繕・更新時期）>

施設番号	施設名	建築年度	維持保全方針	区分	15年間合計 (百万円)	年														
						2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
86	豊岡学校給食センター	2000	予防保全	建築設備	32					3					27					2
					166	24		1	2	24		3	1	92		2		5	11	
87	日高学校給食センター	1997	予防保全	建築設備	12		1						10				1			
					65	8	10		1		38		1	1	1	4	1			
88	出石学校給食センター	2013	予防保全	建築設備	43				13				1					28		
					80	2	1	12		3		3	27	1	1	1	29	1		

(9) 子育て支援施設

<表 子育て支援施設の保全計画（各部位の修繕・更新時期）>

施設 番号	施設名	建築 年度	維持保全 方針	区分	15年間 合計 (百万円)	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
89	豊岡めぐみ幼稚園 ※1	1987	事後保全	建築 設備	43 40		1 4					42 20					1 8			3
90	豊岡ひかり幼稚園 ※2	1970	事後保全	建築 設備	1 3	解体時期 2010	解体時期 の設定													
91	田鶴野幼稚園 ※3	1990	事後保全	建築 設備	33 17					2					32 11					3
92	五荘奈佐幼稚園 ※4	2012	事後保全	建築 設備	40 80		12 12		3		3	1 27		1			27 30	1		1
93	新田幼稚園 ※5	1990	事後保全	建築 設備	26 17					2					25 11					3
94	中筋幼稚園	1982	事後保全	建築 設備	31 21		26 11					1 3					5 7			
95	神美幼稚園 ※6	1999	事後保全	建築 設備	7 27				1 6					6 16				1	2	
96	日高幼稚園 ※7	2001	事後保全	建築 設備	29 102	13 14				5	2 13		1	1	1	13 62		1		2
97	出石幼稚園 ※8	1982	事後保全	建築 設備	52 36		43 18					1 4					9 12			
98	福住幼稚園 ※9	1986	事後保全	建築 設備	21 21						20 11					1	4		2	
99	寺坂幼稚園 ※10	1985	事後保全	建築 設備	15 11					13 5					1					3 3
100	西保育園	2006	予防保全	建築 設備	21 42	1 8			1		18 14					3 17		1		
101	森本へき地保育園	1968	事後保全	建築 設備	2	解体時期 2008	解体時期 の設定													
102	八条認定こども園	2002	予防保全	建築 設備	173 117	150										2	23 114		1	
103	港認定こども園	1992	予防保全	建築 設備	56 84		10 52		1			1 4				1	45 23			
104	竹野認定こども園	2011	予防保全	建築 設備	22 42	8 6			1	1	14			1		14 13			1	5
105	合橋認定こども園	1977	事後保全	建築 設備	12 24		1 5					11 14					1 3			
106	高橋認定こども園	1977	事後保全	建築 設備		解体時期 2017	解体時期 の設定													
107	資母認定こども園	1978	事後保全	建築 設備	8 28			1 8					7 11		1	1		2		

施設 番号	施設名	建築 年度	維持保全 方針	区分	15年間 合計 (百万円)															
						2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
108	八条放課後児童クラブ	2014	予防保全	建築	4				2											3
				設備	5			1						1						2
109	三江放課後児童クラブ	2000	予防保全	建築	8					1						6				
				設備	36			2	6				1	23						1
110	五荘第2放課後児童クラブ	2017	予防保全	建築	2							2								
				設備	4		1						1							1
111	清滝放課後児童クラブ	1997	予防保全	建築	3							3								
				設備	18	1	3						11							1
112	小坂放課後児童クラブ	1988	予防保全	建築	21									20						
				設備	13			2							8					
113	小野放課後児童クラブ	1987	予防保全	建築	20							20								
				設備	12		2							8						
114	竹野子育てセンター	1965	事後保全	建築 設備	1					解体時期										

- ※1 豊岡めぐみ幼稚園は、豊岡放課後児童クラブとの複合施設です。
- ※2 豊岡ひかり幼稚園は、豊岡第2放課後児童クラブとの複合施設です。
- ※3 田鶴野幼稚園は、田鶴野放課後児童クラブとの複合施設です。
- ※4 五荘奈佐幼稚園は、五荘放課後児童クラブとの複合施設です。
- ※5 新田幼稚園は、新田放課後児童クラブとの複合施設です。
- ※6 神美幼稚園は、神美放課後児童クラブとの複合施設です。
- ※7 日高幼稚園は、日高第2放課後児童クラブとの複合施設です。
- ※8 出石幼稚園は、弘道放課後児童クラブとの複合施設です。
- ※9 福住幼稚園は、福住放課後児童クラブとの複合施設です。
- ※10 寺坂幼稚園は、寺坂放課後児童クラブとの複合施設です。

(10) その他

＜表 その他の保全計画（各部位の修繕・更新時期）＞

施設 番号	施設名	建築 年度	維持保全 方針	区分	15年間 合計 (百万円)	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031	2032	2033	2034	2035
115	久畑二ノ宮福祉住宅	1996	事後保全	建築	9	1					7									
				設備	30	7				19							3			
116	中山向町移住促進住宅	1996	予防保全	建築	13		9				3									
				設備	30	7				18						3				
117	但馬地域地場産業振興センター5階	1989	予防保全	建築	13									13						
				設備	21				1						11					
118	豊岡最終処分場	2000	予防保全	建築	11					1					9					1
				設備	73				4	10		1		1	50		1		1	4
119	一日市排水機場	1999	予防保全	建築	6				1					5						
				設備	383			204	176											
120	豊岡斎場	1984	予防保全	建築	48				30					1						17
				設備	41			1	17					1	8			3		9
121	豊岡駅前広場	2011	予防保全	建築	6	2										4				
				設備	6	1						1					3			
122	Weぶらざ	1990	予防保全	建築	196	169									27					1
				設備	34	7						1				20				

5 対策費用

(1) 試算方法

計画期間（15 年間）に想定される予防保全費用を整理した内容を示します。

予防保全費用は、「建築物のライフサイクルコスト」（国交省監修）を活用し、LCC 計算プログラムにより算出したものであり、消費税を含んでいません。

＜表 コスト試算の条件＞

方向性			概要
解体に要する費用			準拠図書の試算により試算
部位の修繕・更新に要する費用			準拠図書の試算により試算
予防保全型	使用年数	RC 造、SRC 造、S 造、B 造	80 年(目標使用年数)
		LS 造、W 造	50 年(目標使用年数)
	長寿命化改修		見込む
	建替え		見込む
事後保全型	使用年数	RC 造、SRC 造、S 造、B 造	60 年(標準使用年数)
		LS 造、W 造	40 年(標準使用年数)
	長寿命化改修		見込まない
	建替え		見込まない
試算方法			床面積入力法 ^{※1} と部材入力法 ^{※2} の併用法
試算単位			施設ごと (複数棟からなる場合も一施設として試算)

※1 試算対象建築物の延床面積と予め想定されたモデル建物の選択により改修コストを試算する手法。モデル建物の床面積当たりの部材数量に、試算対象建築物の延床面積を乗じて部材数量を算出。

※2 試算対象建築物の部材構成に沿った部材数量と用意された単価の積で改修コストを試算する手法。

①床面積入力法のモデル建物概要

床面積入力法のため、使用したモデル建物は、以下の2種類です。

＜表 適用モデル＞

モデル建物	構造	階数	延床面積
小規模事務庁舎	RC 造	2 階	889.79 m ²
中規模事務庁舎	RC 造	4 階	2,462.37 m ²

②部材入力法による仕様の変更

建築物の最低限必要な機能や性能を維持する上で重要となり、修繕・更新費用に与える影響も大きい部位については、部材入力法によるコストの精緻化を図っています。

＜表 部材入力法による標準仕様の変更＞

項目	屋根・屋上	外部	電気設備	給排水・衛生・消防設備	空調設備	搬送設備
部位	屋根	外壁	受変電	給排水衛生	空調	昇降機
想定される仕様	<ul style="list-style-type: none"> ●アスファルト保護防水 ●アスファルト露出防水 ●シート防水 ●塗膜防水 ●金属スレート ●瓦 	<ul style="list-style-type: none"> ●塗仕上げ ●タイル張り ●セメント系パネル ●金属系パネル ●カーテンウォール 	<ul style="list-style-type: none"> ●高圧 ●低圧 	<ul style="list-style-type: none"> ●ポンプ等 ●直圧 	<ul style="list-style-type: none"> ●中央方式 ●個別方式 ●空調なし 	<ul style="list-style-type: none"> ●なし ●1台 ●2台以上

(2) 試算結果

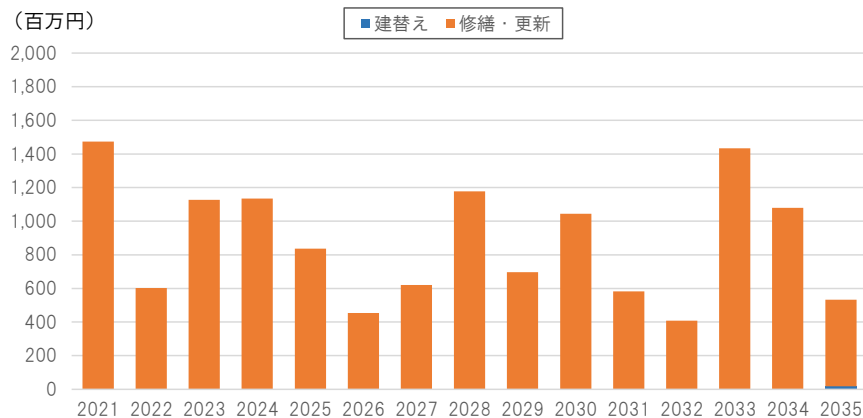
① 予防保全型維持保全手法にかかる対策費用

予防保全型の維持保全を実施する 80 施設について、2021 年から 2035 年までの 15 年間における維持保全にかかるコストの試算結果を「表 予防保全型対象施設の対策費用」に示します。

<表 予防保全型対象施設の対策費用>

	2021~2025 (百万円)	2026~2030 (百万円)	2031~2035 (百万円)	15年間 (百万円)	40年間 (百万円)
建替え	0	0	18	18	3,951
修繕・更新	5,174	3,992	4,019	13,185	35,145
総額	5,174	3,992	4,037	13,203	39,096
年平均	1,035	798	807	880	977

<図 予防保全型対象施設の対策費用>



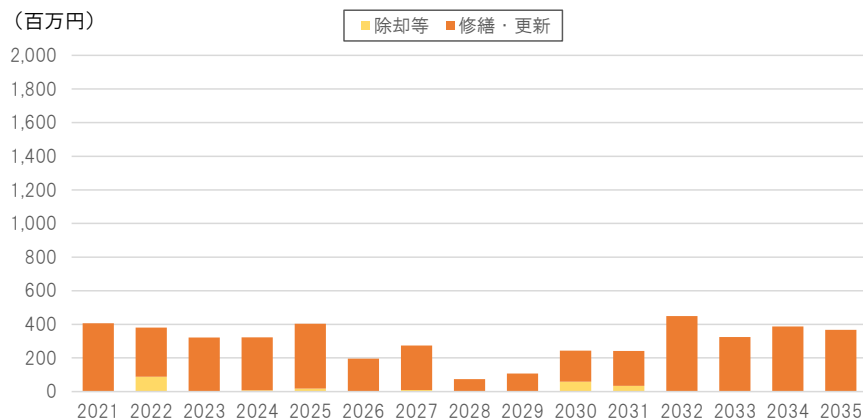
② 事後保全型維持保全手法にかかる対策費用

事後保全型の維持保全を実施する 42 施設について、2021 年から 2035 年までの 15 年間における維持保全にかかるコストの試算結果を「表 事後保全型対象施設の対策費用」に示します。

<表 事後保全型対象施設の対策費用>

	2021~2025 (百万円)	2026~2030 (百万円)	2031~2035 (百万円)	15年間 (百万円)	40年間 (百万円)
除却等	113	68	33	214	1,083
修繕・更新	1,723	826	1,737	4,286	6,753
総額	1,836	894	1,770	4,500	7,836
年平均	367	179	354	300	196

<図 事後保全型対象施設の対策費用>



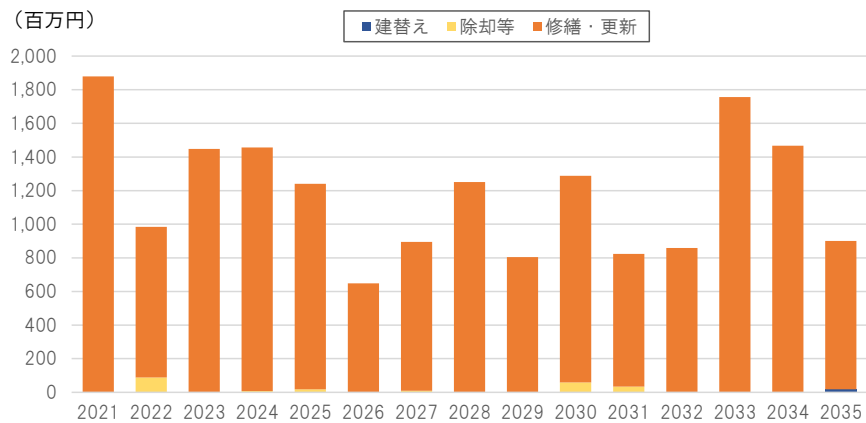
③対策費用の合計

予防保全型による維持保全対象施設と事後保全型による維持保全対象施設を合わせた個別施設ごとの方向性を示した 122 施設について、2021 年から 2035 年までの 15 年間における維持保全にかかるコストの試算結果の合計額を「表 122 施設の対策費用」に示します。

<表 122 施設の対策費用>

	2021~2025 (百万円)	2026~2030 (百万円)	2031~2035 (百万円)	15 年間 (百万円)	40 年間 (百万円)
建替え	0	0	18	18	3,951
除却等	113	68	33	214	1,083
修繕・更新	6,897	4,818	5,756	17,471	41,898
総額	7,010	4,886	5,807	17,703	46,932
年平均	1,402	977	1,161	1,180	1,173

<図 122 施設の対策費用>



第5章 小規模施設等の今後の計画

1 対象となる小規模施設等

<表 対象となる小規模施設等>

No	施設	地域 区分	建築 年度	建物 構造	階数	耐震性	延床面積 (㎡)
1	豊岡消防団車庫(第1分団)	豊岡	2000	S	1階	新耐震	70
2	豊岡消防団車庫(第2分団)	豊岡	1986	S	2階	新耐震	70
3	豊岡消防団車庫(第4分団)	豊岡	1986	S	1階	新耐震	64
4	豊岡消防団車庫(第5分団)	豊岡	1997	S	1階	新耐震	66
5	豊岡消防団車庫(第6分団)	豊岡	1979	S	1階	未実施	55
6	豊岡消防団車庫(第7分団)	豊岡	1993	S	1階	新耐震	63
7	豊岡消防団車庫(第8分団)	豊岡	2006	S	2階	新耐震	106
8	豊岡消防団車庫(第9分団)	豊岡	1974	S	1階	未実施	115
9	豊岡消防団車庫(第10分団)	豊岡	1989	S	1階	新耐震	60
10	豊岡消防団車庫(第11分団)	豊岡	1980	S	1階	未実施	61
11	豊岡消防団車庫(第12分団)	豊岡	1987	S	2階	新耐震	64
12	豊岡消防団車庫(第13分団)	豊岡	1975	S	1階	未実施	59
13	豊岡消防団車庫(第14分団)	豊岡	2002	S	1階	新耐震	70
14	城崎消防団車庫(第1分団ひたち班)	城崎	1973	RC	2階	未実施	55
15	城崎消防団車庫(第1分団やまと班)	城崎	1996	W	1階	新耐震	28
16	城崎消防団車庫(第2分団ゆしま班)	城崎	1966	CB	1階	未実施	27
17	城崎消防団車庫(第3分団はやて班)	城崎	1965	CB	1階	未実施	30
18	城崎消防団車庫(第4分団あさひ班)	城崎	2007	S	1階	新耐震	68
19	城崎消防団車庫(第4分団のぞみ班)	城崎	2004	S	1階	新耐震	27
20	城崎消防団車庫(第5分団うやま班)	城崎	1988	LS	1階	新耐震	21
21	城崎消防団車庫(第5分団くるひ班)	城崎	2008	W	2階	新耐震	66
22	竹野消防団車庫(第1分団第1部)	竹野	1983	W	1階	新耐震	27
23	竹野消防団車庫(第1分団第6部)	竹野	1978	S	1階	未実施	58
24	竹野消防団車庫(第3分団)	竹野	1984	W	1階	新耐震	99
25	竹野消防団車庫(第4分団)	竹野	1986	W	1階	新耐震	48
26	竹野消防団車庫(第5分団)	竹野	1974	W	1階	未実施	24
27	日高消防団車庫(特設分団)	日高	1982	W	2階	新耐震	170
28	日高消防団車庫(第1分団)	日高	1974	S	1階	未実施	24
29	日高消防団車庫(第2分団)	日高	1965	S	1階	未実施	32
30	日高消防団車庫(第3分団)	日高	1973	S	1階	未実施	24
31	日高消防団車庫(第4分団)	日高	2002	S	1階	新耐震	33
32	日高消防団車庫(第6分団)	日高	1998	S	2階	新耐震	53
33	日高消防団車庫(第7分団)	日高	1974	S	1階	未実施	24
34	日高消防団車庫(第8分団)	日高	1974	S	1階	未実施	24
35	日高消防団車庫(第9分団)	日高	1974	S	1階	未実施	24
36	日高消防団車庫(第10分団)	日高	1974	W	1階	未実施	24
37	日高消防団車庫(第11分団)	日高	1973	S	1階	未実施	21
38	日高消防団車庫(第12分団)	日高	2000	RC	1階	新耐震	33
39	日高消防団車庫(第13分団)	日高	1973	S	1階	未実施	23
40	日高消防団車庫(第14分団)	日高	1973	S	1階	未実施	22
41	日高消防団車庫(第15分団)	日高	1973	S	1階	未実施	23
42	日高消防団詰所(第15分団)	日高	1973	S	1階	未実施	9
43	日高消防団車庫(第16分団)	日高	1972	W	1階	未実施	33
44	出石消防団車庫(本部分団・第1分団車庫)	出石	1983	S	1階	新耐震	58
45	出石消防団車庫(第2分団車庫)	出石	1999	W	1階	新耐震	54
46	出石消防団車庫(第3分団車庫)	出石	2007	S	2階	新耐震	91
47	出石消防団車庫(第4分団車庫)	出石	1999	W	1階	新耐震	45
48	出石消防団車庫(第5分団車庫)	出石	2004	W	1階	新耐震	45
49	出石消防団車庫(第6分団車庫)	出石	2000	W	1階	新耐震	43
50	出石消防団車庫(第7分団車庫)	出石	1988	W	1階	新耐震	58
51	出石消防団車庫(第8分団車庫)	出石	1968	W	1階	未実施	24

No	施設	地域 区分	建築 年度	建物 構造	階数	耐震性	延床面積 (㎡)
52	出石消防団車庫(第9分団車庫)	出石	1990	W	1階	新耐震	54
53	但東消防団車庫(第1分団)	但東	1987	LS	1階	新耐震	36
54	但東消防団車庫(第2分団)	但東	1987	LS	1階	新耐震	33
55	但東消防団車庫(第3分団)	但東	1989	LS	1階	新耐震	36
56	但東消防団車庫(第4分団)	但東	1994	LS	1階	新耐震	50
57	但東消防団車庫(第5分団)	但東	2016	S	1階	新耐震	60
58	但東消防団車庫(第6分団)	但東	2006	LS	1階	新耐震	49
59	防災資材倉庫	城崎	1968	CB	1階	未実施	26
60	防災資機材庫(竹野松本)	竹野	1996	S	1階	新耐震	53
61	防災資機材庫(竹野森本)	竹野	1997	S	1階	新耐震	36
62	防災資機材備蓄庫(竹野消防団第2分団)	竹野	1999	S	1階	新耐震	33
63	防災資機材備蓄庫(竹野消防団第6分団)	竹野	2001	S	1階	新耐震	35
64	防災資機材倉庫(西芝水防倉庫)	日高	1995	S	1階	新耐震	95
65	水防倉庫(八条)	豊岡	1967	W	1階	新耐震	20
66	水防倉庫(庄境)	豊岡	2001	W	1階	新耐震	33
67	水防倉庫(日撫)	豊岡	2006	LS	1階	新耐震	19
68	水防倉庫(下鶴井)	豊岡	2004	LS	1階	新耐震	14
69	水防倉庫(森津)	豊岡	1950	W	1階	新耐震	32
70	水防倉庫(引野)	豊岡	1958	W	1階	新耐震	33
71	水防倉庫(清冷寺)	豊岡	1990	W	1階	新耐震	20
72	水防倉庫(神美)	豊岡	1982	W	1階	新耐震	20
73	水防倉庫(城崎円山)	城崎	2009	W	1階	新耐震	23
74	水防倉庫(日高土居)	日高	1972	W	1階	未実施	20
75	水防倉庫(出石小坂)	出石	2006	W	1階	新耐震	23
76	水防倉庫(出石片間)	出石	1968	W	1階	未実施	33
77	水防倉庫(出石堀川)	出石	2001	S	1階	新耐震	21
78	水防倉庫(但東出合)	但東	1983	LS	1階	新耐震	27
79	大岡山基地局	日高	2015	RC	1階	新耐震	24
80	郷路岳基地局	但東	2015	RC	1階	新耐震	24
81	港基地局	豊岡	2015	S	1階	新耐震	10
82	椒地域ふるさと生きがいセンター	竹野	1988	S	2階	新耐震	486
83	まちなかステーション	豊岡	2013	W	1階	新耐震	56
84	竹野観光センター	竹野	1980	RC	2階	未実施	158
85	日高武道練習場	日高	1972	S	1階	未実施	195
86	気比の浜キャンプ場炊事棟	豊岡	2004	W	1階	新耐震	74
87	弁天浜野営場炊事棟(東側)	竹野	1979	W	1階	未実施	58
88	ログハウス「黎明の家」	出石	1993	W	1階	新耐震	42
89	白糸の滝キャンプ場	出石	1986	RC	1階	新耐震	26
90	出石温泉泉源	出石	1994	CB	1階	新耐震	115
91	片間ふれあい農園	出石	1994	W	1階	新耐震	109
92	旧但馬ちりめん振興館	但東	1987	S	1階	新耐震	571
93	農産物直売所	日高	2004	W	1階	新耐震	9
94	山宮地場ソーラーPR館	日高	1971	W	1階	新耐震	36
95	但馬歴史散策の里	但東	1987	W	1階	新耐震	12
96	日高共同作業所	日高	1960	W	1階	未実施	174
97	美術品等収蔵庫	城崎	1987	S	1階	新耐震	195
98	出土文化財管理センター	豊岡	1995	S	2階	新耐震	789
99	旧田舎暮らし体験施設	但東	1975	W	1階	未実施	85
100	豊岡学校給食センター(車庫)	豊岡	2011	W	1階	新耐震	210
101	旧但東学校給食センター	但東	2004	S	1階	新耐震	478
102	旧三方幼稚園	日高	1993	RC	1階	新耐震	244
103	旧西気保育園	日高	1982	RC	1階	新耐震	295
104	旧高屋厚生年金住宅	豊岡	1962	RC	4階	未実施	1,673
105	旧豊岡自動車教習所	豊岡	1988	S	1階	未実施	162
106	生涯住宅豊岡展示場	豊岡	1994	LS	2階	新耐震	363
107	旧港出張所	豊岡	1936	W	2階	未実施	239
108	旧港保育園	豊岡	1999	W	2階	新耐震	482
109	旧港西幼稚園	豊岡	1981	RC	2階	新耐震	423
110	旧JA内川支店	城崎	1973	S	3階	未実施	604

No	施設	地域 区分	建築 年度	建物 構造	階数	耐震性	延床面積 (㎡)
111	旧森本中学校冬季宿舍	竹野	1968	W	2階	未実施	640
112	旧大森小学校	竹野	1961	RC	2階	未実施	810
113	旧西気小学校(区長会無償貸与分)	日高	1982	RC	1階	未実施	1,223
114	旧三方農協集出荷場	日高	1931	W	1階	未実施	79
115	旧神鍋高原観光センター	日高	1985	SRC	2階	新耐震	259
116	伊木住宅(旧尾崎邸)	出石	1968	W	2階	未実施	200
117	伊木住宅(福田邸)	出石	1968	W	1階	未実施	91
118	旧倉品邸	出石	1968	W	2階	未実施	137
119	旧資母幼稚園	但東	1982	RC	1階	新耐震	251
120	旧高橋診療所	但東	1960	W	1階	未実施	158
121	旧但東北中学校	但東	1954	W	1階	未実施	646
122	旧文化財保管施設	日高	1994	W	2階	新耐震	166
123	旧豊岡清掃センター	豊岡	1989	RC	3階	新耐震	5,398
124	旧豊岡し尿処理場	豊岡	1963	RC	1階	未実施	2,327
125	豊岡第2清掃センター	豊岡	1982	RC	1階	新耐震	223
126	旧ごみ焼却場(竹野)	竹野	1975	W	1階	未実施	97
127	旧日高町ごみ焼却場	日高	1971	W	1階	未実施	407
128	旧出石町福住最終処分場	出石	1977	RC	1階	未実施	89
129	旧但東町ごみ焼却場	但東	1975	S	1階	未実施	314
130	市道大開一日市線道路排水ポンプ室	豊岡	1998	CB	1階	新耐震	28
131	市道南高校線雨水排水ポンプ室	豊岡	1973	CB	1階	未実施	5
132	市道妙楽寺弥栄線排水ポンプ操作室	豊岡	1992	RC	1階	新耐震	20
133	豊岡中核工業団地汚水ポンプ施設	豊岡	1986	S	1階	新耐震	154
134	丸山公園(便益施設)	豊岡	1969	CB	1階	未実施	111
135	正法寺団地公園(便益施設)	豊岡	1995	RC	1階	新耐震	10
136	大師山自然公園(管理施設)	豊岡	1985	W	1階	新耐震	52
137	大師山自然公園(便益施設)	豊岡	1985	W	1階	新耐震	112
138	玄武洞公園休憩所	豊岡	2007	RC	1階	新耐震	108
139	城崎駅通り公園	城崎	2010	W	1階	新耐震	105
140	御所の湯ポケットパーク回廊	城崎	2005	W	1階	新耐震	51
141	来日岳山頂施設	城崎	1980	W	1階	未実施	123
142	つるがみね公園	日高	1992	W	1階	新耐震	6
143	ロマンフル国府公園	日高	1993	W	1階	新耐震	6
144	神鍋溪谷公園	日高	1988	W	1階	新耐震	6
145	神鍋山頂公園登山口公衆便所	日高	1986	W	1階	新耐震	12
146	日高防災公園まゆの里	日高	2014	W	1階	新耐震	126
147	日高山本農村公園	日高	2001	その他	1階	新耐震	6
148	八代ふるさと公園	日高	1993	W	1階	新耐震	39
149	入佐山公園	出石	1987	W	1階	新耐震	6
150	東霊苑	豊岡	2011	W	1階	新耐震	49
151	西霊苑	豊岡	1969	CB	1階	新耐震	36
152	桃島駐車場(兼倉庫)	城崎	1997	S	2階	新耐震	294
153	出石西の丸駐車場	出石	1997	RC	1階	新耐震	92
154	出石鉄砲町駐車場	出石	1999	W	1階	新耐震	86
155	竹野市営バス停留所((旧)床瀬停留所)	竹野	1986	W	1階	新耐震	10
156	竹野市営バス停留所(桑野本停留所)	竹野	1986	W	1階	新耐震	10
157	竹野市営バス停留所(三原停留所)	竹野	1986	W	1階	新耐震	10
158	竹野市営バス停留所(森本停留所)	竹野	1995	S	1階	新耐震	13
159	竹野市営バス停留所(須野谷停留所)	竹野	1986	W	1階	新耐震	8
160	竹野市営バス停留所(大森停留所)	竹野	1986	W	1階	新耐震	10
161	竹野市営バス停留所(竹野南公民館停留)	竹野	1986	W	1階	新耐震	5
162	竹野市営バス停留所(竹野南小学校停留)	竹野	1986	W	1階	新耐震	10
163	竹野市営バス停留所(ニツ家停留所)	竹野	1986	W	1階	新耐震	5
164	出合バス停留所	但東	1998	W	1階	新耐震	25
165	コウトリの郷駅	豊岡	2009	LS	1階	新耐震	6
166	小尾崎自動車排出ガス測定局	豊岡	1973	CB	1階	新耐震	8
167	阿瀬溪谷休憩所	日高	1974	W	1階	未実施	36
168	除雪機械車庫	竹野	2006	S	1階	新耐震	118
169	竹野市営バス車庫	竹野	1999	S	1階	新耐震	137

No	施設	地域 区分	建築 年度	建物 構造	階数	耐震性	延床面積 (㎡)
170	上郷重機車庫 1	日高	1982	S	1階	新耐震	42
171	上郷重機車庫 2	日高	1995	S	1階	新耐震	42
172	上郷重機車庫 3	日高	2003	S	1階	新耐震	42
173	大開東倉庫(倉庫)	豊岡	1968	CB	1階	新耐震	4
174	柳町簡易倉庫	城崎	1993	LS	1階	新耐震	19
175	倉庫(元JA轟支店)	竹野	1984	S	1階	新耐震	166
176	倉庫(元竹中部室)	竹野	1977	S	1階	未実施	69
177	鶴岡橋倉庫	日高	1983	S	1階	新耐震	127
178	学童農園附帯施設	出石	1982	LS	1階	新耐震	17
179	消防ポンプ小屋	豊岡	1967	W	1階	新耐震	6
180	文化財収蔵庫	日高	1977	RC	1階	未実施	80
181	文化財水槽庫	日高	1981	W	1階	未実施	39
182	青空市場公衆便所	豊岡	1968	CB	1階	新耐震	3
183	大手前公衆トイレ	出石	2001	W	1階	新耐震	134
184	中嶋神社観光トイレ	豊岡	2002	W	1階	新耐震	29
185	気比の浜トイレ	豊岡	2004	W	1階	新耐震	55
186	鴻の湯観光トイレ	城崎	2003	W	1階	新耐震	34
187	観光センター西公衆トイレ	竹野	1984	RC	1階	新耐震	51
188	今後谷公衆トイレ	竹野	2002	RC	1階	新耐震	50
189	切浜漁港公衆トイレ	竹野	1997	W	1階	新耐震	32
190	馬場町公衆トイレ	竹野	1987	RC	1階	新耐震	25
191	浜須井公衆トイレ	竹野	2004	W	1階	新耐震	32
192	弁天浜西公衆トイレ	竹野	1993	RC	1階	新耐震	45
193	弁天浜中公衆トイレ	竹野	1986	RC	1階	新耐震	26
194	日高小学校夜間照明用公衆便所	日高	1986	CB	1階	新耐震	9
195	神鍋高原公衆便所(栗栖野中央グラウンド)	日高	1984	W	1階	新耐震	57
196	神鍋高原キャンプ場入口公衆便所	日高	1991	CB	1階	新耐震	14
197	北神鍋公衆便所(旧西気小横)	日高	1987	CB	1階	新耐震	9
198	城崎温泉駅前公衆便所	城崎	2015	S	1階	新耐震	43
199	豊岡消防署倉庫	豊岡	2015	LS	1階	新耐震	28
200	玄武洞公園公衆トイレ	豊岡	2017	W	1階	新耐震	24
201	塩津町倉庫	豊岡	1965	RC	1階	未実施	215

2 整備方針

(1) 普通財産の整備方針

普通財産については、地方自治法 238 条の 5 に基づき、貸し付け、交換、売り払い、譲与等ができることとされており、当初の目的を終えた施設を別の目的で利活用しているため、市が維持管理費用を負担して長期間保有し続けることは適切ではありません。

そのため、目標使用年数を超過した建物については、老朽化によって周囲への悪影響を及ぼす恐れもあることから、速やかに除却し、安全上問題のない状態で管理するものとし、継続して使用可能な建物や跡地については、活用の可能性や、各地域での活用ニーズを検討します。また、利活用の見込みがないものについては、売却や有償貸付等により、収益財産としての活用を図ります。

(2) 普通財産以外の整備方針

普通財産以外の小規模施設等については、再編計画の方向性により、当面の間使用する施設と廃止する施設に分類し、今後維持管理を行っていく施設については、事後保全型の維持保全を行うものとします。建替えの周期は標準使用年数として設定している「表 建築物全体の望ましい目標耐用年数の級」に示す、「建築物の耐久計画に関する考え方」（日本建築学会）の代表値とし、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄骨造、ブロック造の建物で 60 年、軽量鉄骨造と木造の建物で 40 年が建替えの周期となるよう設定します。廃止する施設については、速やかに除却することとします。

なお、施設改修の際は、省エネルギー設備を積極的に導入するほか、感染症予防対策等、安全安心な公共施設を維持します。また、大規模改修や更新を実施する際には、多様な利用者を考慮し、ユニバーサルデザインに配慮した整備を進めます。

3 建替え等の計画

<表 小規模施設等の建替え等時期>

No	施設	経過 年数	建替え等の時期の目安				備考
			~2025	~2030	~2035	2036~	
1	豊岡消防団車庫(第1分団)	20	-	-	-	2060	
2	豊岡消防団車庫(第2分団)	34	-	-	-	2046	
3	豊岡消防団車庫(第4分団)	34	-	-	-	2046	
4	豊岡消防団車庫(第5分団)	23	-	-	-	2057	
5	豊岡消防団車庫(第6分団)	41	-	-	-	2039	
6	豊岡消防団車庫(第7分団)	27	-	-	-	2053	
7	豊岡消防団車庫(第8分団)	14	-	-	-	2066	
8	豊岡消防団車庫(第9分団)	46	-	-	2034	-	
9	豊岡消防団車庫(第10分団)	31	-	-	-	2049	
10	豊岡消防団車庫(第11分団)	40	-	-	-	2040	
11	豊岡消防団車庫(第12分団)	33	-	-	-	2047	
12	豊岡消防団車庫(第13分団)	45	-	-	2035	-	
13	豊岡消防団車庫(第14分団)	18	-	-	-	2062	
14	城崎消防団車庫(第1分団ひたち班)	47	-	-	2033	-	
15	城崎消防団車庫(第1分団やまと班)	24	-	-	-	2036	
16	城崎消防団車庫(第2分団ゆしま班)	54	-	2026	-	-	
17	城崎消防団車庫(第3分団はやて班)	55	2025	-	-	-	
18	城崎消防団車庫(第4分団あさひ班)	13	-	-	-	2067	
19	城崎消防団車庫(第4分団のぞみ班)	16	-	-	-	2064	
20	城崎消防団車庫(第5分団うやま班)	32	-	2028	-	-	
21	城崎消防団車庫(第5分団くるひ班)	12	-	-	-	2048	
22	竹野消防団車庫(第1分団第1部)	37	2023	-	-	-	
23	竹野消防団車庫(第1分団第6部)	42	-	-	-	2038	
24	竹野消防団車庫(第3分団)	36	2024	-	-	-	
25	竹野消防団車庫(第4分団)	34	-	2026	-	-	
26	竹野消防団車庫(第5分団)	46	超過	-	-	-	
27	日高消防団車庫(特設分団)	38	2022	-	-	-	
28	日高消防団車庫(第1分団)	46	-	-	2034	-	
29	日高消防団車庫(第2分団)	55	2025	-	-	-	
30	日高消防団車庫(第3分団)	47	-	-	2033	-	
31	日高消防団車庫(第4分団)	18	-	-	-	2062	
32	日高消防団車庫(第6分団)	22	-	-	-	2058	
33	日高消防団車庫(第7分団)	46	-	-	2034	-	
34	日高消防団車庫(第8分団)	46	-	-	2034	-	
35	日高消防団車庫(第9分団)	46	-	-	2034	-	
36	日高消防団車庫(第10分団)	46	超過	-	-	-	
37	日高消防団車庫(第11分団)	47	-	-	2033	-	
38	日高消防団車庫(第12分団)	20	-	-	-	2060	
39	日高消防団車庫(第13分団)	47	-	-	2033	-	
40	日高消防団車庫(第14分団)	47	-	-	2033	-	
41	日高消防団車庫(第15分団)	47	-	-	2033	-	
42	日高消防団詰所(第15分団)	47	-	-	2033	-	
43	日高消防団車庫(第16分団)	48	超過	-	-	-	
44	出石消防団車庫(本部分団・第1分団車庫)	37	-	-	-	2043	
45	出石消防団車庫(第2分団車庫)	21	-	-	-	2039	
46	出石消防団車庫(第3分団車庫)	13	-	-	-	2067	
47	出石消防団車庫(第4分団車庫)	21	-	-	-	2039	
48	出石消防団車庫(第5分団車庫)	16	-	-	-	2044	
49	出石消防団車庫(第6分団車庫)	20	-	-	-	2040	
50	出石消防団車庫(第7分団車庫)	32	-	2028	-	-	
51	出石消防団車庫(第8分団車庫)	52	超過	-	-	-	
52	出石消防団車庫(第9分団車庫)	30	-	2030	-	-	
53	但東消防団車庫(第1分団)	33	-	2027	-	-	
54	但東消防団車庫(第2分団)	33	-	2027	-	-	

No	施設	経過 年数	建替え等の時期の目安				備考
			~2025	~2030	~2035	2036~	
55	但東消防団車庫(第3分団)	31	-	2029	-	-	
56	但東消防団車庫(第4分団)	26	-	-	2034	-	
57	但東消防団車庫(第5分団)	4	-	-	-	2076	
58	但東消防団車庫(第6分団)	14	-	-	-	2046	
59	防災資材倉庫	52	-	2028	-	-	
60	防災資機材庫(竹野松本)	24	-	-	-	2056	
61	防災資機材庫(竹野森本)	23	-	-	-	2057	
62	防災資機材備蓄庫(竹野消防団第2分団)	21	-	-	-	2059	
63	防災資機材備蓄庫(竹野消防団第6分団)	19	-	-	-	2061	
64	防災資機材倉庫(西芝水防倉庫)	25	-	-	-	2055	
65	水防倉庫(八条)	53	超過	-	-	-	
66	水防倉庫(庄境)	19	-	-	-	2041	
67	水防倉庫(日撫)	14	-	-	-	2046	
68	水防倉庫(下鶴井)	16	-	-	-	2044	
69	水防倉庫(森津)	70	超過	-	-	-	
70	水防倉庫(引野)	62	超過	-	-	-	
71	水防倉庫(清冷寺)	30	-	2030	-	-	
72	水防倉庫(神美)	38	2022	-	-	-	
73	水防倉庫(城崎円山)	11	-	-	-	2049	
74	水防倉庫(日高土居)	48	超過	-	-	-	
75	水防倉庫(出石小坂)	14	-	-	-	2046	
76	水防倉庫(出石片間)	52	超過	-	-	-	
77	水防倉庫(出石堀川)	19	-	-	-	2061	
78	水防倉庫(但東出合)	37	2023	-	-	-	
79	大岡山基地局	5	-	-	-	2075	
80	郷路岳基地局	5	-	-	-	2075	
81	港基地局	5	-	-	-	2075	
82	椒地域ふるさと生きがいセンター	32	-	-	-	2048	
83	まちなかステーション	7	-	-	-	2053	
84	竹野観光センター	40	-	-	-	2040	
85	日高武道練習場	48	-	-	2032	-	普通財産
86	気比の浜キャンプ場炊事棟	16	-	-	-	2044	
87	弁天浜野営場炊事棟(東側)	41	超過	-	-	-	
88	ログハウス「黎明の家」	27	-	-	2033	-	
89	白糸の滝キャンプ場	34	-	-	-	2046	
90	出石温泉泉源	26	-	-	-	2054	
91	片間ふれあい農園	26	-	-	2034	-	
92	旧但馬ちりめん振興館	33	-	-	-	2047	普通財産
93	農産物直売所	16	-	-	-	2044	
94	山宮地場ソーラーPR館	49	超過	-	-	-	
95	但馬歴史散策の里	33	-	2027	-	-	
96	日高共同作業所	60	超過	-	-	-	廃止予定
97	美術品等収蔵庫	33	-	-	-	2047	
98	出土文化財管理センター	25	-	-	-	2055	
99	旧田舎暮らし体験施設	45	超過	-	-	-	普通財産
100	豊岡学校給食センター(車庫)	9	-	-	-	2051	
101	旧但東学校給食センター	16	-	-	-	2064	普通財産
102	旧三方幼稚園	27	-	-	-	2053	廃止済
103	旧西気保育園	38	-	-	-	2042	普通財産
104	旧高屋厚生年金住宅	58	2022	-	-	-	普通財産
105	旧豊岡自動車教習所	32	-	-	-	2048	普通財産
106	生涯住宅豊岡展示場	26	-	-	2034	-	普通財産
107	旧港出張所	84	超過	-	-	-	普通財産
108	旧港保育園	21	-	-	-	2039	普通財産
109	旧港西幼稚園	39	-	-	-	2041	普通財産
110	旧JA内川支店	47	-	-	2033	-	普通財産
111	旧森本中学校冬季宿舎	52	超過	-	-	-	普通財産
112	旧大森小学校	59	2021	-	-	-	普通財産
113	旧西気小学校(区長会無償貸与分)	48	-	2032	-	-	普通財産

No	施設	経過 年数	建替え等の時期の目安				備考
			～2025	～2030	～2035	2036～	
114	旧三方農協集出荷場	89	超過	-	-	-	普通財産
115	旧神鍋高原観光センター	35	-	-	-	2045	普通財産
116	伊木住宅(旧尾崎邸)	52	超過	-	-	-	普通財産
117	伊木住宅(福田邸)	52	超過	-	-	-	普通財産
118	旧倉品邸	52	超過	-	-	-	普通財産
119	旧資母幼稚園	38	-	-	-	2042	普通財産
120	旧高橋診療所	60	超過	-	-	-	普通財産
121	旧但東北中学校	66	超過	-	-	-	普通財産
122	旧文化財保管施設	26	-	-	2034	-	普通財産
123	旧豊岡清掃センター	31	-	-	-	2049	普通財産
124	旧豊岡し尿処理場	57	2023	-	-	-	普通財産
125	豊岡第2清掃センター	38	-	-	-	2042	廃止予定
126	旧ごみ焼却場(竹野)	45	超過	-	-	-	普通財産
127	旧日高町ごみ焼却場	49	超過	-	-	-	普通財産
128	旧出石町福祉最終処分場	43	-	-	-	2037	普通財産
129	旧但東町ごみ焼却場	45	-	-	2035	-	普通財産
130	市道大開一日市線道路排水ポンプ室	22	-	-	-	2058	
131	市道南高校線雨水排水ポンプ室	47	-	-	2033	-	
132	市道妙楽寺弥栄線排水ポンプ操作室	28	-	-	-	2052	
133	豊岡中核工業団地汚水ポンプ施設	34	-	-	-	2046	
134	丸山公園(便益施設)	51	-	2029	-	-	
135	正法寺団地公園(便益施設)	25	-	-	-	2055	
136	大師山自然公園(管理施設)	35	2025	-	-	-	
137	大師山自然公園(便益施設)	35	2025	-	-	-	
138	玄武洞公園休憩所	13	-	-	-	2067	
139	城崎駅通り公園	10	-	-	-	2050	
140	御所の湯ポケットパーク回廊	15	-	-	-	2045	
141	来日岳山頂施設	40	超過	-	-	-	
142	つるがみね公園	28	-	-	2032	-	
143	ロマンフル国府公園	27	-	-	2033	-	
144	神鍋溪谷公園	32	-	2028	-	-	
145	神鍋山頂公園登山口公衆便所	34	-	2026	-	-	
146	日高防災公園まゆの里	6	-	-	-	2054	
147	日高山本農村公園	19	-	-	-	2041	
148	八代ふるさと公園	27	-	-	2033	-	
149	入佐山公園	33	-	2027	-	-	
150	東霊苑	9	-	-	-	2051	
151	西霊苑	51	-	2029	-	-	
152	桃島駐車場(兼倉庫)	23	-	-	-	2057	普通財産
153	出石西の丸駐車場	23	-	-	-	2057	
154	出石鉄砲町駐車場	21	-	-	-	2039	
155	竹野市営バス停留所((旧)床瀬停留所)	34	-	2026	-	-	
156	竹野市営バス停留所(桑野本停留所)	34	-	2026	-	-	
157	竹野市営バス停留所(三原停留所)	34	-	2026	-	-	
158	竹野市営バス停留所(森本停留所)	25	-	-	-	2055	
159	竹野市営バス停留所(須野谷停留所)	34	-	2026	-	-	
160	竹野市営バス停留所(大森停留所)	34	-	2026	-	-	
161	竹野市営バス停留所(竹野南公民館停留所)	34	-	2026	-	-	
162	竹野市営バス停留所(竹野南小学校停留所)	34	-	2026	-	-	
163	竹野市営バス停留所(ニツ家停留所)	34	-	2026	-	-	
164	出合バス停留所	22	-	-	-	2038	
165	コウノリの郷駅	11	-	-	-	2049	
166	小尾崎自動車排出ガス測定局	47	-	-	2033	-	
167	阿瀬溪谷休憩所	46	超過	-	-	-	
168	除雪機械車庫	14	-	-	-	2066	
169	竹野市営バス車庫	21	-	-	-	2059	
170	上郷重機車庫1	38	-	-	-	2042	
171	上郷重機車庫2	25	-	-	-	2055	
172	上郷重機車庫3	17	-	-	-	2063	

No	施設	経過 年数	建替え等の時期の目安				備考
			~2025	~2030	~2035	2036~	
173	大開東倉庫(倉庫)	52	-	2028	-	-	
174	柳町簡易倉庫	27	-	-	2033	-	普通財産
175	倉庫(元JA轟支店)	36	-	-	-	2044	普通財産
176	倉庫(元竹中部室)	43	-	-	-	2037	普通財産
177	鶴岡橋倉庫	37	-	-	-	2043	
178	学童農園附帯施設	38	2022	-	-	-	
179	消防ポンプ小屋	53	超過	-	-	-	
180	文化財収蔵庫	43	-	-	-	2037	
181	文化財水槽庫	39	2021	-	-	-	
182	青空市場公衆便所	52	-	2028	-	-	
183	大手前公衆トイレ	19	-	-	-	2041	
184	中嶋神社観光トイレ	18	-	-	-	2042	
185	気比の浜トイレ	16	-	-	-	2044	
186	鴻の湯観光トイレ	17	-	-	-	2043	
187	観光センター西公衆トイレ	36	-	-	-	2044	
188	今後谷公衆トイレ	18	-	-	-	2062	
189	切浜漁港公衆トイレ	23	-	-	-	2037	
190	馬場町公衆トイレ	33	-	-	-	2047	
191	浜須井公衆トイレ	16	-	-	-	2044	
192	弁天浜西公衆トイレ	27	-	-	-	2053	
193	弁天浜中公衆トイレ	34	-	-	-	2046	
194	日高小学校夜間照明用公衆便所	34	-	-	-	2046	
195	神鍋高原公衆便所(栗栖野中央グラウンド横)	36	2024	-	-	-	
196	神鍋高原キャンプ場入口公衆便所	29	-	-	-	2051	
197	北神鍋公衆便所(旧西気小横)	33	-	-	-	2047	
198	城崎温泉駅前公衆便所	5	-	-	-	2075	
199	豊岡消防署倉庫	5	-	-	-	2055	
200	玄武洞公園公衆トイレ	3	-	-	-	2057	
201	塩津町倉庫	55	2025	-	-	-	普通財産

※「建替え等の時期の目安」は、財政負担の概要を算出するため、第3章2(4)に掲げる標準使用年数をもとに時期を判定したもので、

将来の建替え時期等を確定したものではありません。

※表中、普通財産については除却時期の目安となります。

※表中、「廃止済」「廃止予定」の施設については、「普通財産」と同様の取り扱いとします。

4 対策費用

(1) 試算方法

小規模施設等 201 施設のうち、当面の間、継続して利用する 163 施設について、事後保全型の維持保全を行っていくものとして、「建築物のライフサイクルコスト」（国交省監修）を活用し、LCC 計算プログラムによる算出をしたものであり、消費税を含んでいません。

なお、「3 建替え等の計画」中、普通財産については、譲受者に解体条件を付する処分を最優先に検討することとするため、除却に要する費用は見込んでいません。

＜表 コスト試算の条件＞

方向性		概要
解体に要する費用		準拠図書の試算により試算
部位の修繕・更新に要する費用		準拠図書の試算により試算
建替えの周期	RC 造、SRC 造、S 造、B 造	60 年(標準使用年数)
	LS 造、W 造	40 年(標準使用年数)
長寿命化改修		見込まない
建替え		見込む
試算方法		床面積入力法 ^{※1}
試算単位		施設ごと(複数棟からなる場合も一施設として試算)

※1 試算対象建築物の延床面積と予め想定されたモデル建物の選択により改修コストを試算する手法。モデル建物の床面積当たりの部材数量に、試算対象建築物の延床面積を乗じて部材数量を算出。

①床面積入力法のモデル建物概要

床面積入力法のため、使用したモデル建物は、以下の 1 種類です。

＜表 適用モデル＞

モデル建物	構造	階数	延床面積	空調設備
学校(体育館)	RC 造	1 階	1,255.52 m ²	なし

※ 「建築物のライフサイクルコスト」（国交省監修）にあるモデル建物を基本としていますが、小規模施設の仕様により近づけるため、階数は 1 階とし、空調設備をなしに変更しています。

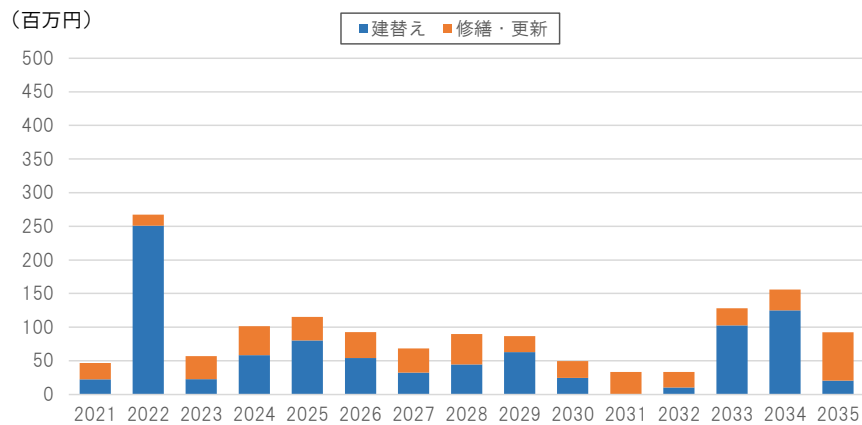
(2) 試算結果

①小規模施設等にかかる対策費用

<表 小規模施設等の対策費用>

	2021~2025 (百万円)	2026~2030 (百万円)	2031~2035 (百万円)	15年間 (百万円)	40年間 (百万円)
建替え	435	218	258	911	2,810
修繕・更新	153	168	185	506	1,098
総額	588	386	443	1,417	3,908
年平均	118	77	89	94	98

<図 小規模施設等の対策費用>



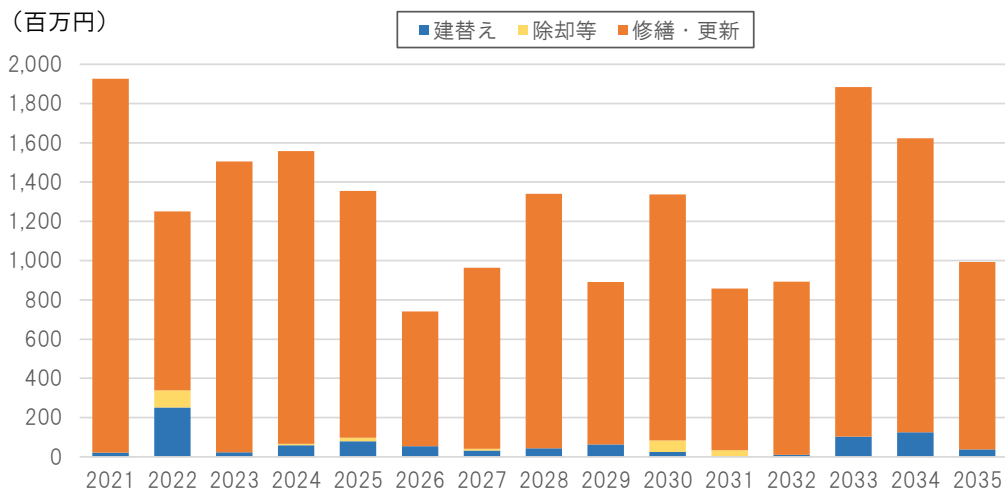
(3) 全対象施設の試算結果

第4章と本章で示した本計画の対象施設となる349施設について、LCC計算プログラムの算定結果を示します。

<表 全対象施設の対策費用>

	2021~2025 (百万円)	2026~2030 (百万円)	2031~2035 (百万円)	15年間 (百万円)	40年間 (百万円)
建替え	435	218	276	929	6,761
除却等	113	68	33	214	1,083
修繕・更新	7,050	4,986	5,941	17,977	42,996
総額	7,598	5,272	6,250	19,120	50,840
年平均	1,520	1,054	1,250	1,275	1,271

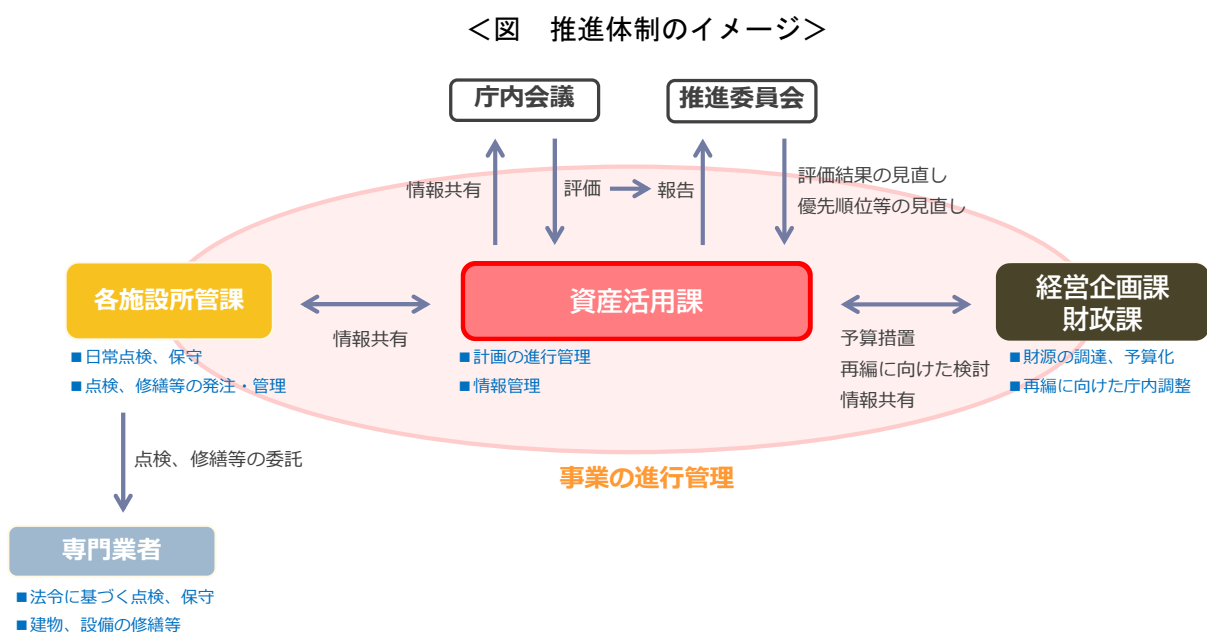
<図 全対象施設の対策費用>



第6章 フォローアップ実施方針

1 推進体制等の充実

本計画を継続的に運用していくため、資産活用課を中心に各施設所管課および経営企画課、財政課が密接に情報を共有しつつ、連携できる体制を構築し、施設ごとの修繕や更新、廃止、解体等といった事業スケジュールの調整等の進行管理を行います。また、保全計画や点検、診断結果等を踏まえ、優先度に応じて必要な修繕等を行うとともに、その実施状況について、庁内会議にて共有化を図り、実施状況について評価を行います。また、評価について推進委員会への報告を行い、必要に応じて評価結果、修繕等の優先順位の見直しを図ります。



2 進捗管理

公共施設マネジメントの実行性を高めるため、今後は PDCA サイクルを構築します。

(1) 計画的な維持管理

維持保全を行っていく施設については、データを活用しつつ、施設管理者等による日常的な点検や専門家による定期的な点検、診断（法定点検や必要に応じた劣化診断など）を計画的に行うなど、施設の劣化や不具合を適切に把握するための取組を実施します。

(2) 計画的な廃止・解体

施設の安全性を確保するため、廃止する予定の施設は廃止・解体の計画を立て、速やかな廃止・解体を実施するとともに、跡地の利活用についても検討します。

(3) データの蓄積

公共施設の点検・診断の結果は、今後の効率的な維持管理の基礎資料として、確実に記録・保存し、蓄積していきます。

公共施設における PDCA サイクルを回すことを支援する施設管理システムを構築し、日々の施設管理情報を蓄積し、蓄積したデータを表やグラフという形で整理することで、施設の現状の分析・課題認識を行います。

(4) 計画の進行管理

本計画は上位計画である「再編計画」の見直し時期に合わせて見直しを行います。

＜図 施設データベースと維持管理の仕組み＞

